

平成 25 年度

# 県政世論調査

( 概要版 )

香 川 県

# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査目的.....	1
2	調査項目.....	1
3	調査設計.....	1
4	回収状況.....	1
5	サンプル設計.....	1
6	報告書の見方.....	3
<b>II</b>	<b>調査回答者の属性</b> .....	<b>5</b>
<b>III</b>	<b>調査の集計結果</b> .....	<b>9</b>
1	地産池消について.....	9
2	動物の愛護と管理について.....	18
3	ボランティア・NPO活動について.....	30
4	地方分権と広域連携について.....	39
5	TPP（環太平洋パートナーシップ）について.....	47
6	県政の重要度と満足度について.....	52

# I 調査の概要

# I 調査の概要

## 1 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とすることを目的とする。

## 2 調査項目

- (1) 地産地消について
- (2) 動物の愛護と管理について
- (3) ボランティア・NPO活動について
- (4) 地方分権と広域連携について
- (5) TPP（環太平洋パートナーシップ）について
- (6) 県政の重要度と満足度について

## 3 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満20歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査法 郵送法
- (6) 調査時期 平成25年6月10日～7月1日

## 4 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,602 (53.4%)

## 5 サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満20歳以上の県民
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 151地点（市部：126地点、町部：25地点）
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

## 〔 層 化 〕

県内の市町（8市9町）を次のように5圏域に分類した。

圏 域 名	構 成 市 町
1 高松圏域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2 東讃圏域	さぬき市・東かがわ市
3 小豆圏域	土庄町・小豆島町
4 中讃圏域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5 西讃圏域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって、

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

## 〔 標本数の配分 〕

各層における母集団数（平成25年3月2日現在の選挙人名簿登録者数）の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

## 〔 抽 出 〕

- ① 第1次抽出単位となる調査地点として、平成25年3月2日現在の投票区を使用した。
- ② 調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③ 調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left( \frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④ 抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤ 調査地点における対象者の抽出は、調査地点（投票区）内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥ 以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

＜ 圏域別・市町規模別 標本数及び調査地点数 ＞

上段：母集団数

下段：標本数、( ) 内は調査地点数

圏域 \ 市町別	高松市	高松市以外の市	町	計
1 高松圏域	345,259 1,255 (63)		47,298 172 (9)	392,557 1,427 (72)
2 東讃圏域		72,951 265 (13)		72,951 265 (13)
3 小豆圏域			27,054 98 (5)	27,054 98 (5)
4 中讃圏域		164,549 598 (30)	58,250 212 (11)	222,799 810 (41)
5 西讃圏域		110,180 400 (20)		110,180 400 (20)

## 6 報告書の見方

(1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。

このために、百分比の合計が100%にならないことがある。

(2) グラフにおける「N」は、比率算出の基数であり、その比率は件数を100%として算出した。

(3) 複数回答の設問の場合、その比率の合計が100%を上回ることがある。

(4) 調査対象者の職業別及び圏域別区分は次のとおりである。

### ◆職業別

農林漁業：農林漁業を営んでいる（家族従業者も含む）

商工業、サービス業、自由業など：商工業、サービス業、自由業などを営んでいる（家族従業者も含む）

会社、商店、官公庁などに勤務：会社、商店、官公庁などに勤めている（パートも含む）

主婦・主夫：主婦・主夫（家族の中で家事が主な役割の方）

無職：無職（学生を含む）

### ◆圏域別

高松圏域：高松市・三木町・直島町・綾川町

東讃圏域：さぬき市・東かがわ市

小豆圏域：土庄町・小豆島町

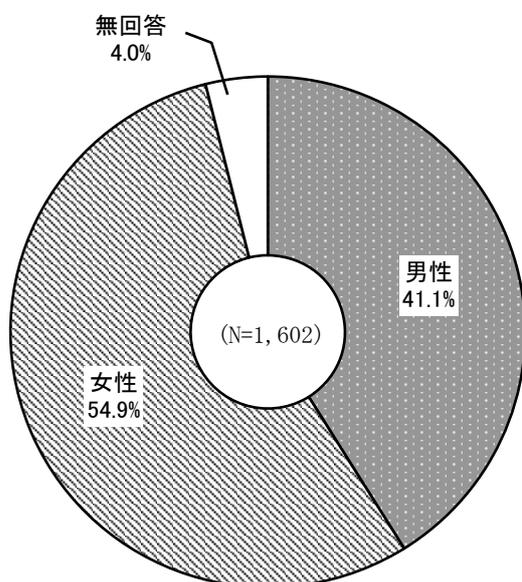
中讃圏域：丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町

西讃圏域：観音寺市・三豊市

## Ⅱ 調査回答者の属性

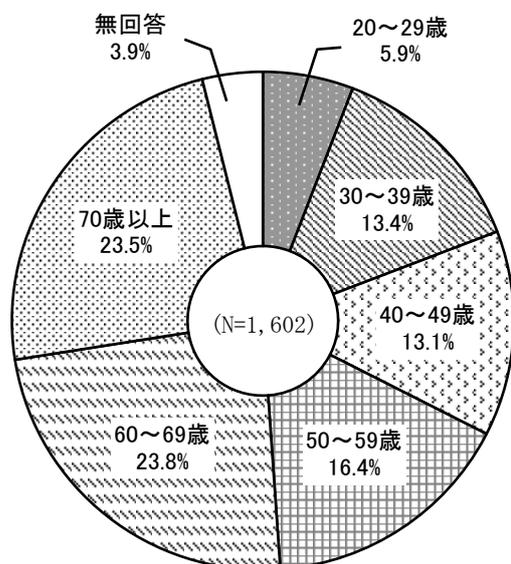
## Ⅱ 調査回答者の属性

### 1 性別



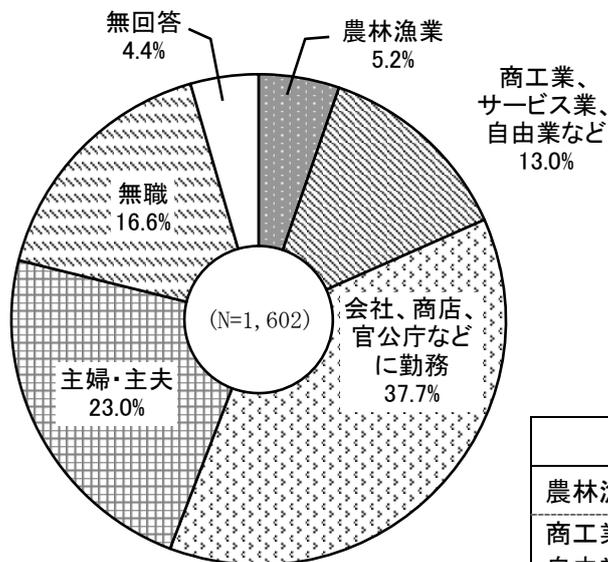
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
男性	659	41.1
女性	879	54.9
(無回答)	64	4.0
計	1,602	100.0

### 2 年齢



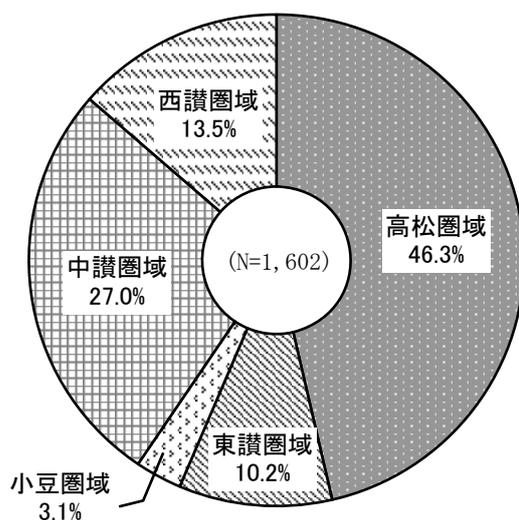
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
20~29歳	95	5.9
30~39歳	214	13.4
40~49歳	210	13.1
50~59歳	262	16.4
60~69歳	382	23.8
70歳以上	377	23.5
(無回答)	62	3.9
計	1,602	100.0

### 3 職業



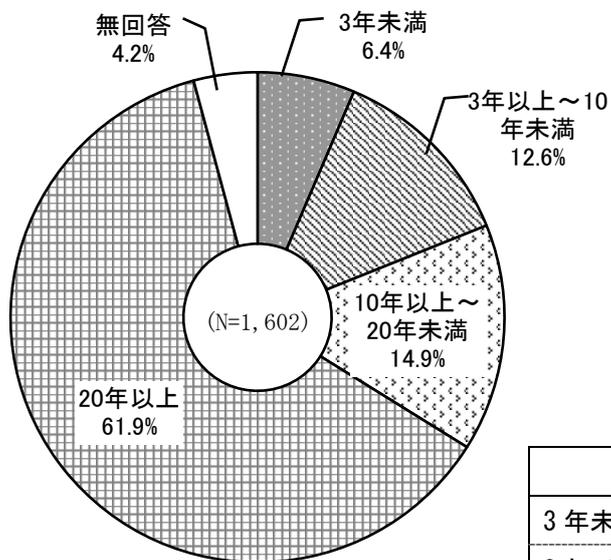
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
農林漁業	84	5.2
商工業、サービス業、自由業など	208	13.0
会社、商店、官公庁などに勤務	604	37.7
主婦・主夫	369	23.0
無職	266	16.6
(無回答)	71	4.4
計	1,602	100.0

### 4 圏域



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
高松圏域	741	46.3
東讃圏域	163	10.2
小豆圏域	50	3.1
中讃圏域	432	27.0
西讃圏域	216	13.5
計	1,602	100.0

## 5 居住年数



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
3年未満	102	6.4
3年以上～10年未満	202	12.6
10年以上～20年未満	239	14.9
20年以上	992	61.9
(無回答)	67	4.2
計	1,602	100.0

### Ⅲ 調査の集計結果

### Ⅲ 調査の集計結果

#### 1 地産地消について

##### (1) 地産地消という言葉や意味について

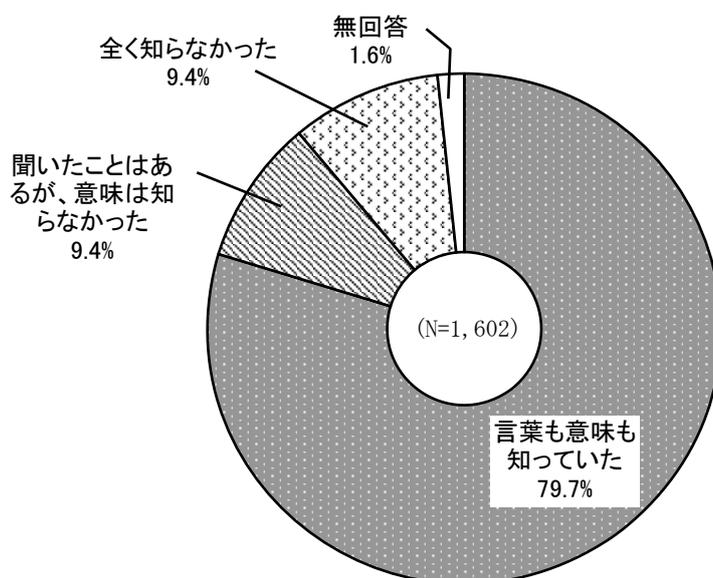
問1 地産地消という言葉や意味を知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,602]

1 言葉も意味も知っていた	79.7%
2 聞いたことはあるが、意味は知らなかった	9.4%
3 全く知らなかった	9.4%
(無回答)	1.6%

地産地消という言葉や意味については、「言葉も意味も知っていた」が79.7%と8割近くを占め、「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」、「全く知らなかった」はともに9.4%となっている。

##### ＜ 地産地消という言葉や意味について ＞



## (2) 産地にこだわって食材を購入しているか

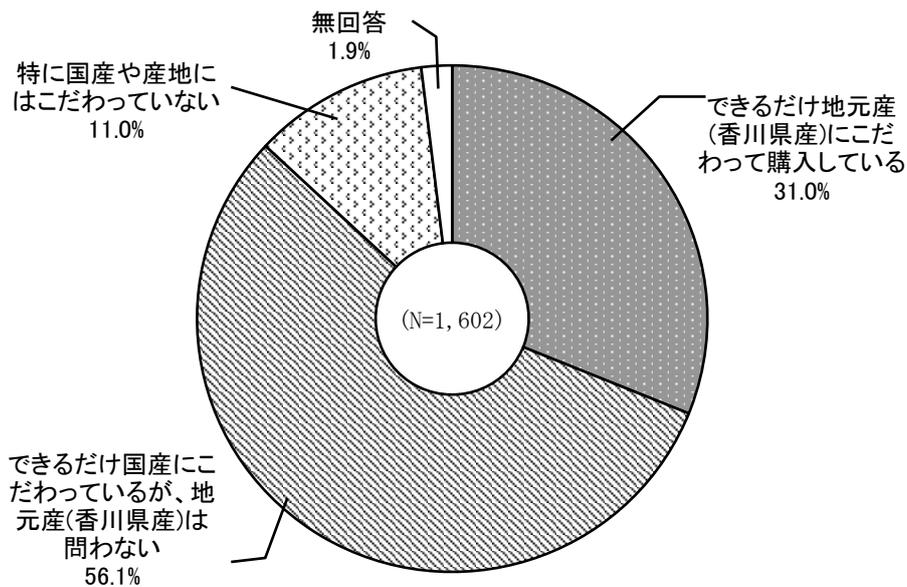
問2 あなたの家庭では、産地にこだわって食材を購入していますか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,602]

1	できるだけ地元産(香川県産)にこだわって購入している	31.0%
2	できるだけ国産にこだわっているが、地元産(香川県産)は問わない	56.1%
3	特に国産や産地にはこだわっていない	11.0%
	(無回答)	1.9%

産地にこだわって食材を購入しているかについては、「できるだけ国産にこだわっているが、地元産(香川県産)は問わない」が56.1%と半数を超え最も高く、次いで「できるだけ地元産(香川県産)にこだわって購入している」が31.0%、「特に国産や産地にはこだわっていない」が11.0%となっている。

### 〈 産地にこだわって食材を購入しているか 〉



### (3) 地元産（香川県産）にこだわって食材を購入している理由

<問2で「1」と答えた方にお聞きします>

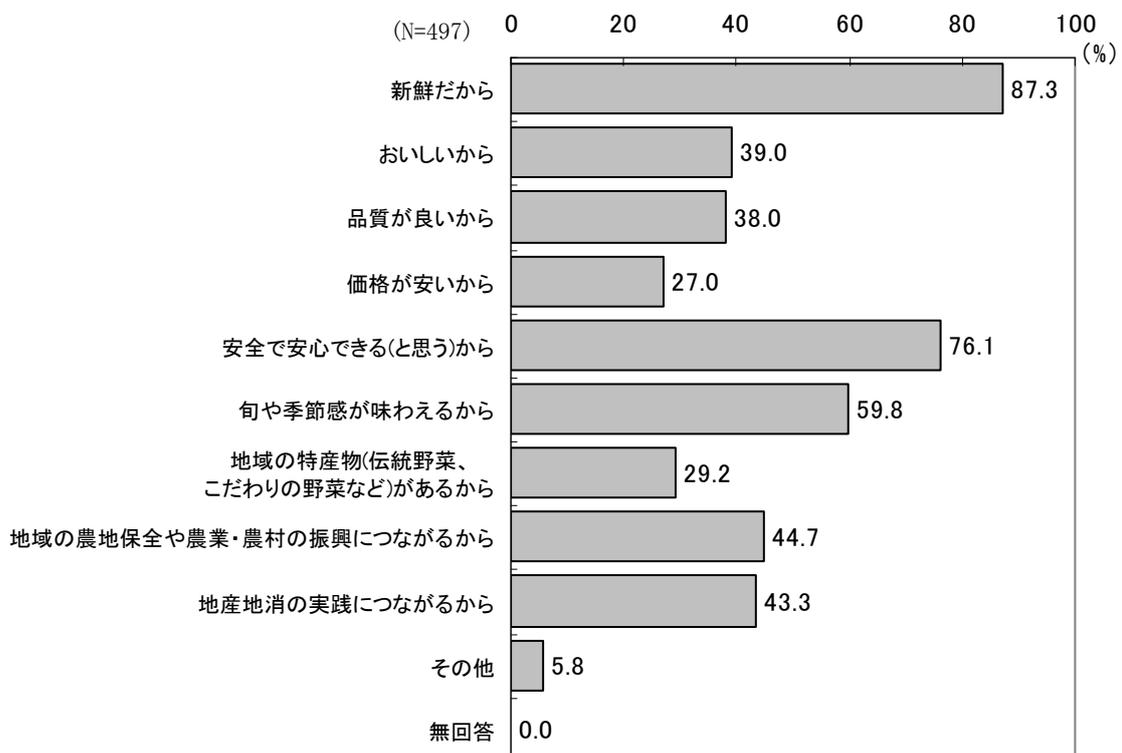
付問1 その理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=497]

1	新鮮だから	87.3%
2	おいしいから	39.0%
3	品質が良いから	38.0%
4	価格が安いから	27.0%
5	安全で安心できる(と思う)から	76.1%
6	旬や季節感が味わえるから	59.8%
7	地域の特産物(伝統野菜、こだわりの野菜など)があるから	29.2%
8	地域の農地保全や農業・農村の振興につながるから	44.7%
9	地産地消の実践につながるから	43.3%
10	その他(具体的に： )	5.8%
	(無回答)	0.0%

地元産（香川県産）にこだわって食材を購入している理由については、「新鮮だから」が87.3%と9割近くを占め最も高く、次いで「安全で安心できる(と思う)から」が76.1%、「旬や季節感が味わえるから」が59.8%、「地域の農地保全や農業・農村の振興につながるから」が44.7%、「地産地消の実践につながるから」が43.3%などとなっている。

#### < 地元産（香川県産）にこだわって食材を購入している理由 >



#### (4) 地元産（香川県産）にこだわって食材を購入していない理由

<問2で「2」または「3」と答えた方にお聞きします>

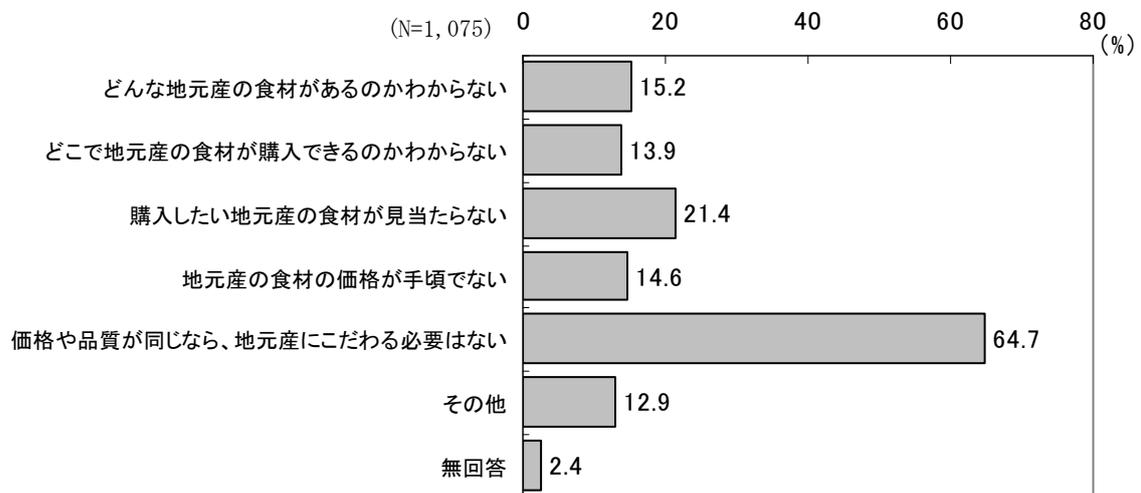
付問2 地元産(香川県産)の食材にこだわらない理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=1,075]

1	どんな地元産の食材があるのかわからない	15.2%
2	どこで地元産の食材が購入できるのかわからない	13.9%
3	購入したい地元産の食材が見当たらない	21.4%
4	地元産の食材の価格が手頃でない	14.6%
5	価格や品質が同じなら、地元産にこだわる必要はない	64.7%
6	その他（具体的に： )	12.9%
	(無回答)	2.4%

地元産（香川県産）にこだわって食材を購入していない理由については、「価格や品質が同じなら、地元産にこだわる必要はない」が64.7%と6割を超え最も高く、次いで「購入したい地元産の食材が見当たらない」が21.4%、「どんな地元産の食材があるのかわからない」が15.2%などとなっている。

#### < 地元産（香川県産）にこだわって食材を購入していない理由 >



### (5) 地元産（香川県産）の食材を使用した料理を提供する飲食店の利用について

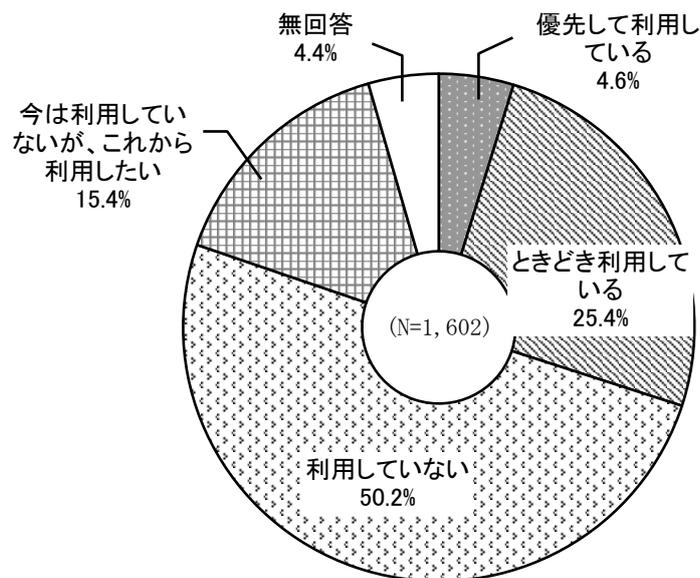
問3 県内には地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供する飲食店などがありますが、優先して利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,602〕

1 優先して利用している	4.6%
2 ときどき利用している	25.4%
3 利用していない	50.2%
4 今は利用していないが、これから利用したい	15.4%
(無回答)	4.4%

地元産（香川県産）の食材を使用した料理を提供する飲食店の利用については、「利用していない」が50.2%と半数を占め最も高くなっている。一方、「優先して利用している」が4.6%で、これに「ときどき利用している」の25.4%を合わせた【利用している】は30.0%となっている。また、「今は利用していないが、これから利用したい」は15.4%となっている。

#### < 地元産（香川県産）の食材を使用した料理を提供する飲食店の利用について >



## (6) 地元産（香川県産）の食材を使用した料理を提供する飲食店を利用する理由

<問3で「1」または「2」と答えた方にお聞きします>

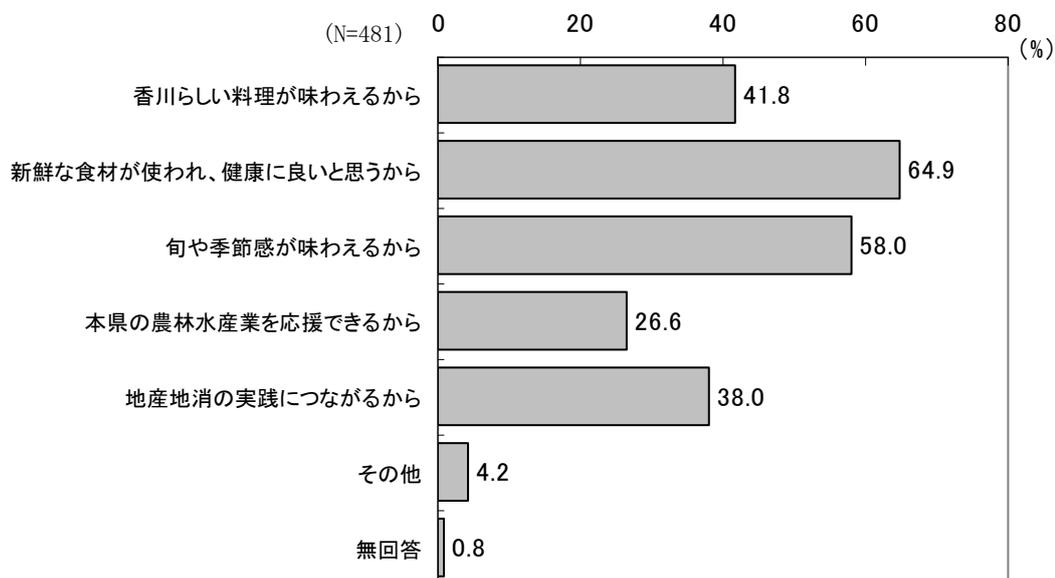
付問1 地元産（香川県産）の食材にこだわって料理を提供する飲食店を利用している理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=481]

1 香川らしい料理が味わえるから	41.8%
2 新鮮な食材が使われ、健康に良いと思うから	64.9%
3 旬や季節感が味わえるから	58.0%
4 本県の農林水産業を応援できるから	26.6%
5 地産地消の実践につながるから	38.0%
6 その他（具体的に： )	4.2%
(無回答)	0.8%

地元産（香川県産）の食材を使用した料理を提供する飲食店を利用する理由については、「新鮮な食材が使われ、健康に良いと思うから」が64.9%と6割を超え最も高く、次いで「旬や季節感が味わえるから」が58.0%、「香川らしい料理が味わえるから」が41.8%などとなっている。

### < 地元産（香川県産）の食材を使用した料理を提供する飲食店を利用する理由 >



**(7) 地元産（香川県産）の食材を使用した料理を提供する飲食店を利用しない理由**

<問3で「3」または「4」と答えた方にお聞きします>

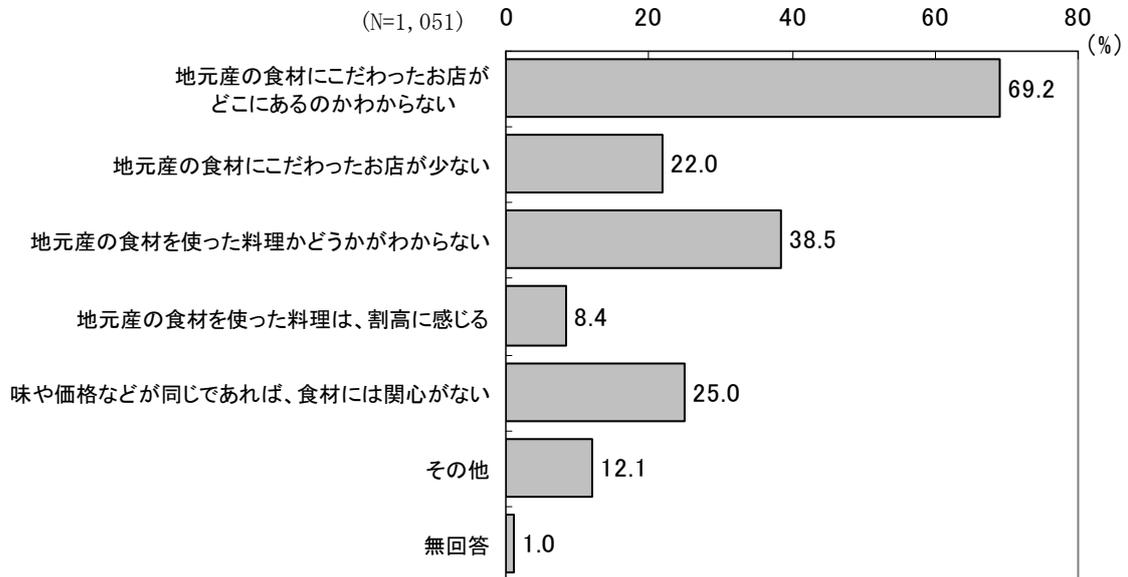
付問2 地元産(香川県産)の食材にこだわる飲食店を利用していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=1,051]

1 地元産の食材にこだわったお店がどこにあるのかわからない	69.2%
2 地元産の食材にこだわったお店が少ない	22.0%
3 地元産の食材を使った料理かどうかかわからない	38.5%
4 地元産の食材を使った料理は、割高に感じる	8.4%
5 味や価格などが同じであれば、食材には関心がない	25.0%
6 その他（具体的に： )	12.1%
(無回答)	1.0%

地元産（香川県産）の食材を使用した料理を提供する飲食店を利用しない理由については、「地元産の食材にこだわったお店がどこにあるのかわからない」が69.2%と7割近くを占め最も高く、次いで「地元産の食材を使った料理かどうかかわからない」が38.5%、「味や価格などが同じであれば、食材には関心がない」が25.0%などとなっている。

**< 地元産（香川県産）の食材を使用した料理を提供する飲食店を利用しない理由 >**



## (8) 今後も地産地消を推進していくべきかどうか

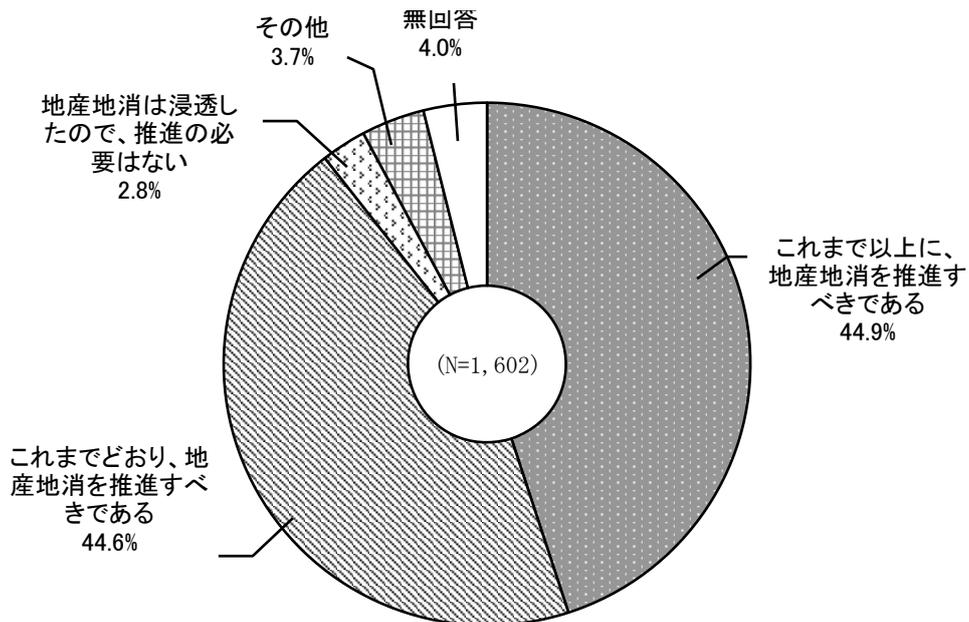
問4 県では、これまで地産地消の推進に取り組んできましたが、引き続き、地産地消を推進していくべきと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,602]

1	これまで以上に、地産地消を推進すべきである	44.9%
2	これまでどおり、地産地消を推進すべきである	44.6%
3	地産地消は浸透したので、推進の必要はない	2.8%
4	その他 ( )	3.7%
	(無回答)	4.0%

今後も地産地消を推進していくべきかどうかについては、「これまで以上に、地産地消を推進すべきである」が44.9%と最も高く、次いで「これまでどおり、地産地消を推進すべきである」が44.6%となっており、これらを合わせた【推進すべきである】が89.5%と9割近くを占める。一方、「地産地消は浸透したので、推進の必要はない」は2.8%となっている。

### 〈 今後も地産地消を推進していくべきかどうか 〉



### (9) 地産地消を推進するために、どのような取組みが必要か

＜問4で「1」または「2」と答えた方にお聞きします＞

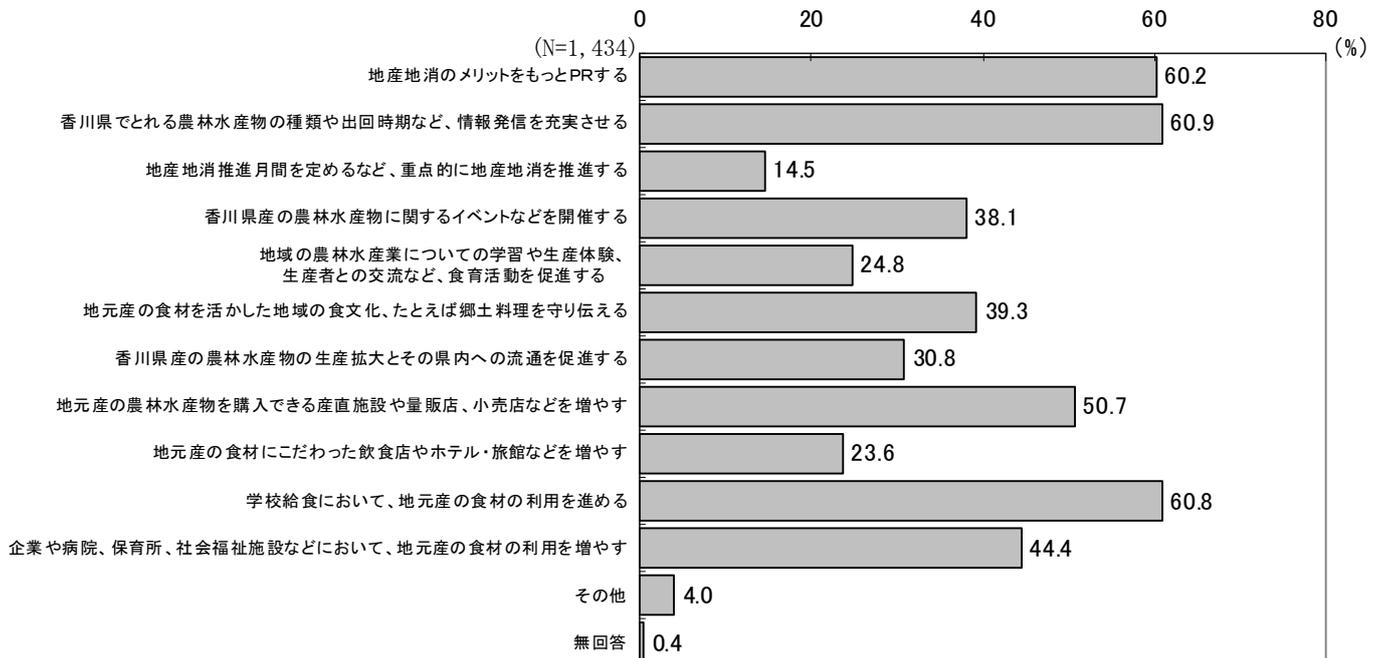
付問1 地産地消を推進するためには、どのような取組みが必要と思いますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

〔回答者数=1,434〕

1 地産地消のメリットをもっとPRする	60.2%
2 香川県でとれる農林水産物の種類や出荷時期など、情報発信を充実させる	60.9%
3 地産地消推進月間を定めるなど、重点的に地産地消を推進する	14.5%
4 香川県産の農林水産物に関するイベントなどを開催する	38.1%
5 地域の農林水産業についての学習や生産体験、生産者との交流など、食育活動を促進する	24.8%
6 地元産の食材を活かした地域の食文化、たとえば郷土料理を守り伝える	39.3%
7 香川県産の農林水産物の生産拡大とその県内への流通を促進する	30.8%
8 地元産の農林水産物を購入できる産直施設や量販店、小売店などを増やす	50.7%
9 地元産の食材にこだわった飲食店やホテル・旅館などを増やす	23.6%
10 学校給食において、地元産の食材の利用を進める	60.8%
11 企業や病院、保育所、社会福祉施設などにおいて、地元産の食材の利用を増やす	44.4%
12 その他（具体的に： ）	4.0%
(無回答)	0.4%

地産地消を推進するために、どのような取組みが必要かについては、「香川県でとれる農林水産物の種類や出荷時期など、情報発信を充実させる」が60.9%と最も高く、次いで「学校給食において、地元産の食材の利用を進める」が60.8%、「地産地消のメリットをもっとPRする」が60.2%などとなっている。

#### ＜ 地産地消を推進するために、どのような取組みが必要か ＞



## 2 動物の愛護と管理について

### (1) ペットを飼っているかどうか

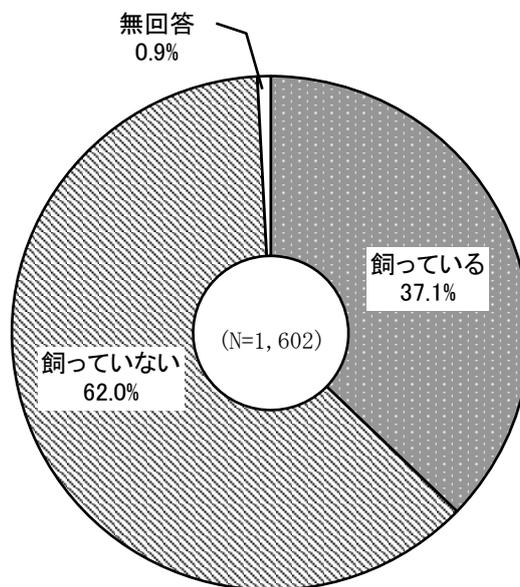
問5 あなたは、ペットを飼っていますか。次のどちらか1つを選んで下さい。

[回答者数=1,602]

1 飼っている	37.1%
2 飼っていない	62.0%
(無回答)	0.9%

ペットを飼っているかどうかについては、「飼っていない」が 62.0%と6割を占め、「飼っている」は 37.1%となっている。

#### < ペットを飼っているかどうか >



## (2) どんなペットを飼っているか

<問5で「1」と答えた方にお聞きします>

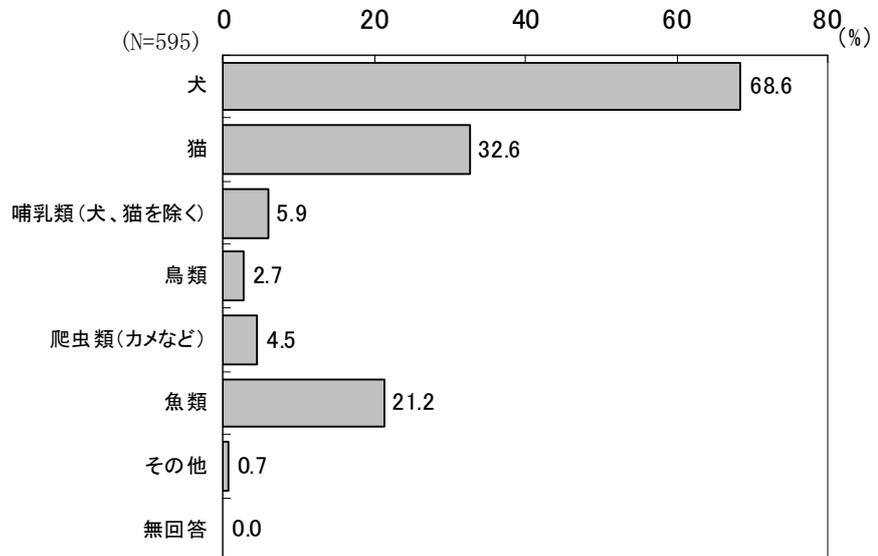
付問1 あなたは、どんなペットを飼っていますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=595]

1 犬	68.6%
2 猫	32.6%
3 哺乳類（犬、猫を除く）	5.9%
4 鳥類	2.7%
5 爬虫類（カメなど）	4.5%
6 魚類	21.2%
7 その他（具体的に： （無回答）	0.7% 0.0%

どんなペットを飼っているかについては、「犬」が68.6%と7割近くを占め最も高く、次いで「猫」が32.6%、「魚類」が21.2%などとなっている。

### < どんなペットを飼っているか >



### (3) ペットの入手方法について

<問5で「1」と答えた方にお聞きします>

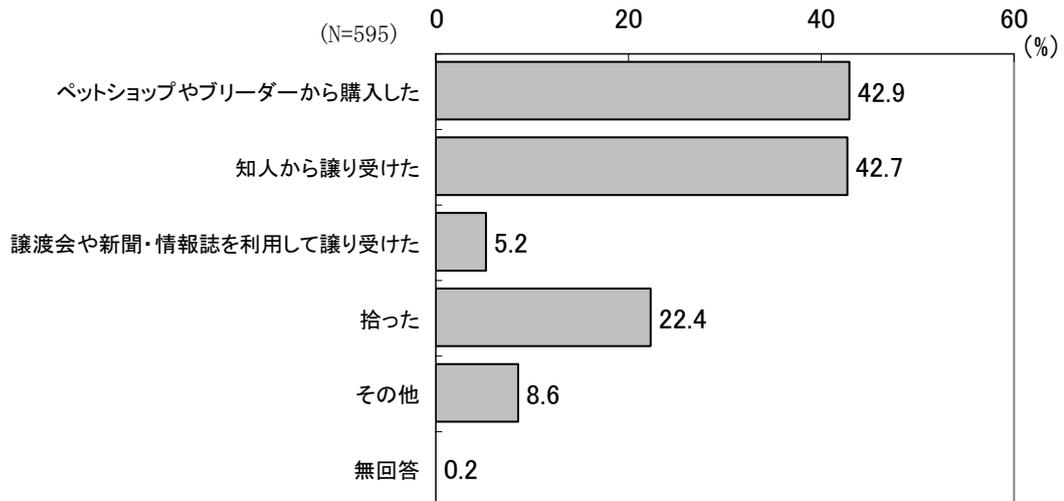
付問2 ペットの入手方法について、次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=595]

1	ペットショップやブリーダーから購入した	42.9%
2	知人から譲り受けた	42.7%
3	譲渡会や新聞・情報誌を利用して譲り受けた	5.2%
4	拾った	22.4%
5	その他（具体的に： )	8.6%
	(無回答)	0.2%

ペットの入手方法については、「ペットショップやブリーダーから購入した」が42.9%と4割を超え最も高く、次いで「知人から譲り受けた」が42.7%、「拾った」が22.4%となっている。また、「譲渡会や新聞・情報誌を利用して譲り受けた」は5.2%となっている。

#### < ペットの入手方法について >



#### (4) ペットの災害時の対策について

<問5で「1」と答えた方にお聞きします>

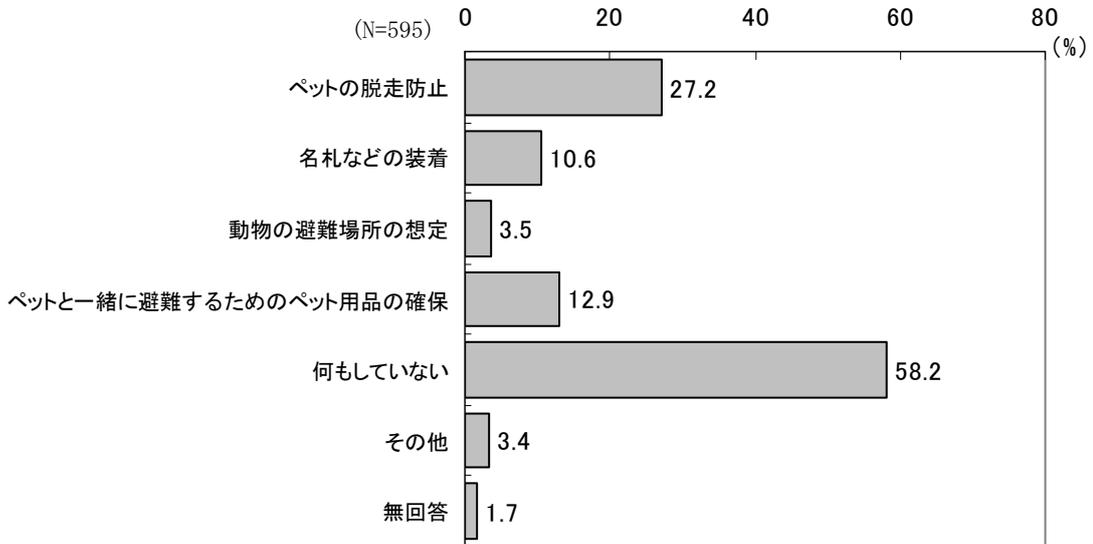
付問3 あなたは、日ごろからペットの災害時の対策を講じていますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=595]

1	ペットの脱走防止	27.2%
2	名札などの装着	10.6%
3	動物の避難場所の想定	3.5%
4	ペットと一緒に避難するためのペット用品の確保	12.9%
5	何もしていない	58.2%
6	その他（具体的に： （無回答）	3.4% 1.7%

ペットの災害時の対策については、「何もしていない」が58.2%と6割近くを占め最も高く、次いで「ペットの脱走防止」が27.2%、「ペットと一緒に避難するためのペット用品の確保」が12.9%、「名札などの装着」が10.6%などとなっている。

#### < ペットの災害時の対策について >



### (5) 飼っている犬または猫が迷子になったときの対策について

<犬または猫を飼っている方にお聞きします>

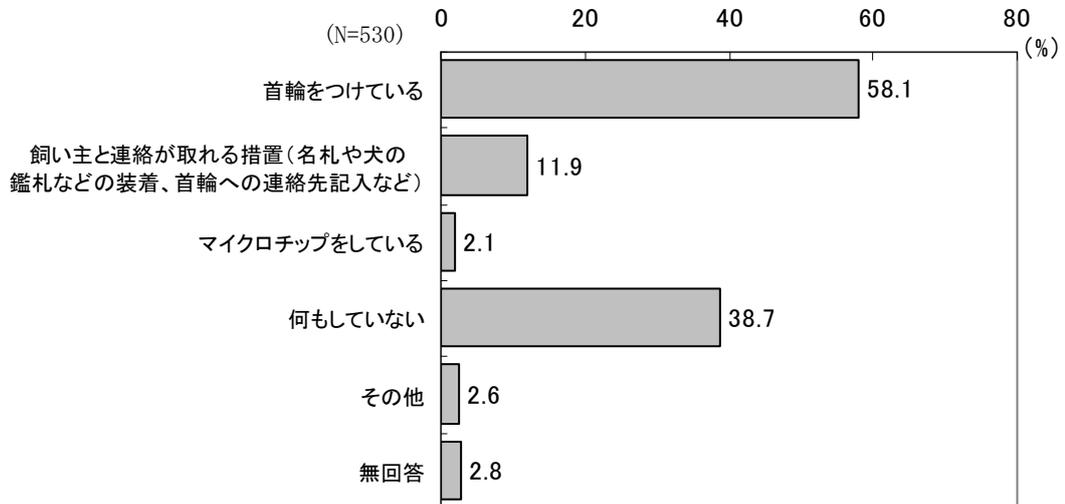
付問4 飼っている犬または猫が迷子になったときの対策をしていますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=530]

1 首輪をつけている	58.1%
2 飼い主と連絡が取れる措置 (名札や犬の鑑札などの装着、首輪への連絡先記入など)	11.9%
3 マイクロチップをしている	2.1%
4 何もしていない	38.7%
5 その他(具体的に： ) (無回答)	2.6% 2.8%

飼っている犬または猫が迷子になったときの対策については、「首輪をつけている」が58.1%と6割近くを占め最も高く、次いで「何もしていない」が38.7%、「飼い主と連絡が取れる措置(名札や犬の鑑札などの装着、首輪への連絡先記入など)」が11.9%となっている。また、「マイクロチップをしている」は2.1%となっている。

#### < 飼っている犬または猫が迷子になったときの対策について >



## (6) 迷子対策をしていない理由

<付問4で「4 何もしていない」と答えた方にお聞きします>

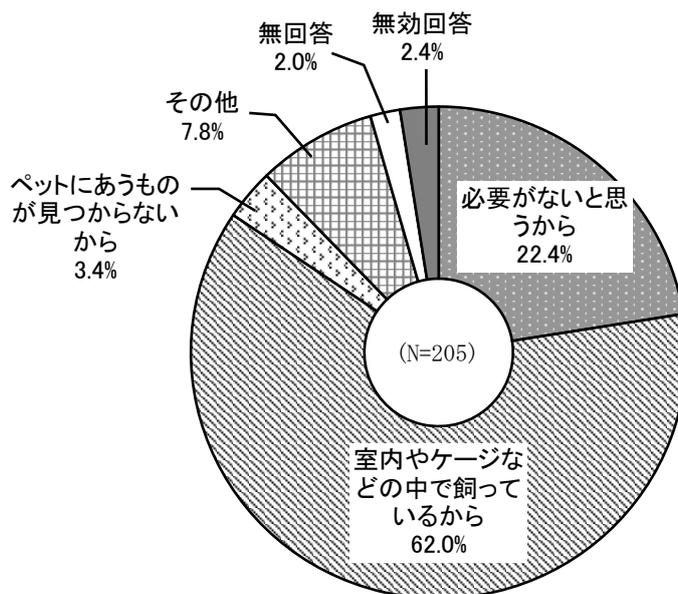
付問5 迷子対策をしていない理由は何ですか。主な理由を1つだけ選んでください。

[回答者数=205]

1 必要がないと思うから	22.4%
2 室内やケージなどの中で飼っているから	62.0%
3 ペットにあうものが見つからないから	3.4%
4 その他（具体的に： )	7.8%
(無回答)	2.0%
無効回答（2つ以上選択された場合、無効回答とさせていただきました）	2.4%

迷子対策をしていない理由については、「室内やケージなどの中で飼っているから」が62.0%と6割を超え最も高く、次いで「必要がないと思うから」が22.4%などとなっている。

### < 迷子対策をしていない理由 >



### (7) 犬または猫の不妊・去勢手術をしているかどうか

<犬または猫を飼っている方にお聞きします>

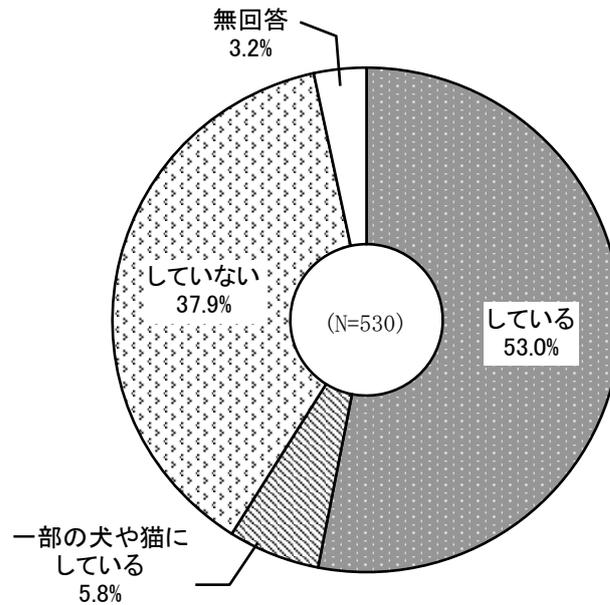
付問6 犬または猫の不妊・去勢手術をしていますか。次の中から1つ選んでください。

[回答者数=530]

1 している	53.0%
2 一部の犬や猫にしている	5.8%
3 していない	37.9%
(無回答)	3.2%

犬または猫の不妊・去勢手術をしているかどうかについては、「している」が53.0%と半数を占め最も高く、次いで「していない」が37.9%、「一部の犬や猫にしている」が5.8%となっている。

#### < 犬または猫の不妊・去勢手術をしているかどうか >



**(8) 犬または猫の不妊・去勢手術をしていない理由**

<付問6で「2」または「3」と答えた方にお聞きします>

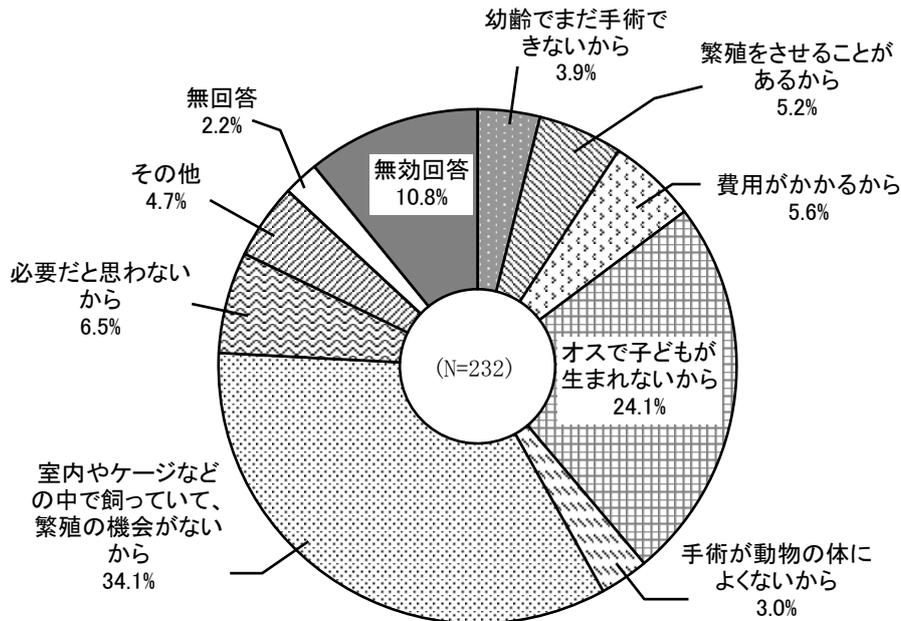
付問7 犬または猫の不妊・去勢手術をしていない理由は何ですか。主な理由を1つだけ選んで下さい。

[回答者数=232]

1 幼齢でまだ手術できないから	3.9%
2 繁殖をさせることがあるから	5.2%
3 費用がかかるから	5.6%
4 オスで子どもが生まれないから	24.1%
5 手術が動物の体によくないから	3.0%
6 室内やケージなどの中で飼っていて、繁殖の機会がないから	34.1%
7 必要だと思わないから	6.5%
8 その他（具体的に： )	4.7%
(無回答)	2.2%
無効回答（2つ以上選択された場合、無効回答とさせていただきます）	10.8%

犬または猫の不妊・去勢手術をしていない理由については、「室内やケージなどの中で飼っていて、繁殖の機会がないから」が34.1%で3割を超え最も高く、次いで「オスで子どもが生まれないから」が24.1%、「必要だと思わないから」が6.5%などとなっている。

< 犬または猫の不妊・去勢手術をしていない理由 >



### (9) どのようにして猫を飼っているか

<猫を飼っている方にお聞きします>

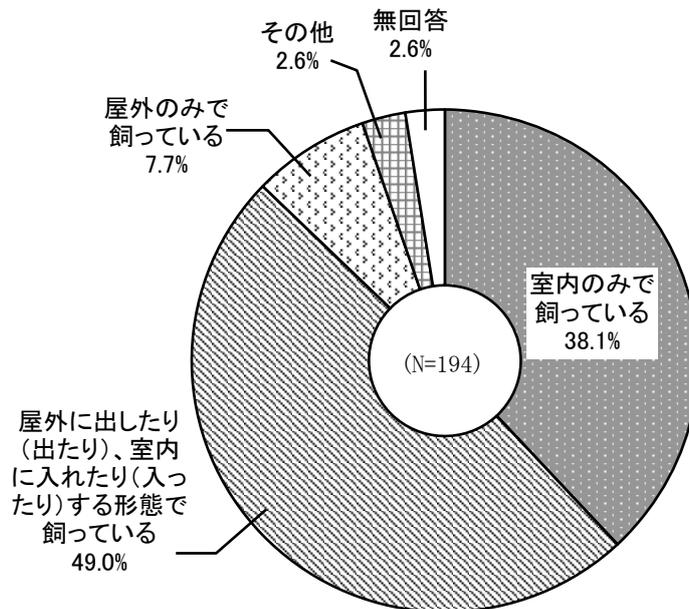
付問8 どのようにして猫を飼っていますか。次の中から1つ選んでください。

[回答者数=194]

1 室内のみで飼っている	38.1%
2 屋外に出したり（出たり）、室内に入れたり（入ったり）する形態で飼っている	49.0%
3 屋外のみで飼っている	7.7%
4 その他（具体的に： ） （無回答）	2.6%

どのようにして猫を飼っているかについては、「屋外に出したり（出たり）、室内に入れたり（入ったり）する形態で飼っている」が 49.0%で半数近くを占め最も高く、次いで「室内のみで飼っている」が 38.1%、「屋外のみで飼っている」が 7.7%などとなっている。

#### < どのようにして猫を飼っているか >



**(10) 動物のことで迷惑を感じたことがあるか、また、それはどんな動物からか**

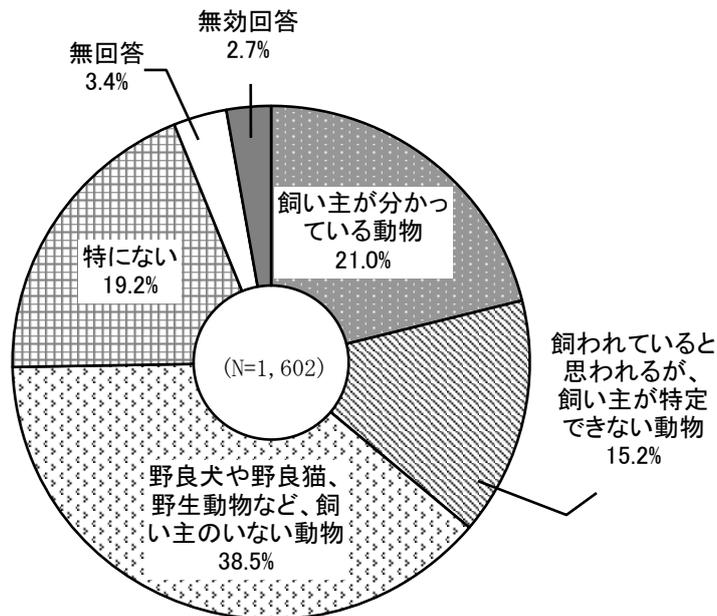
問6 動物のことで迷惑を感じたことがありますか。それは、どんな動物からですか。次の中から主なものを1つだけ選んで下さい。

〔回答者数=1,602〕

1 飼い主が分かっている動物	21.0%
2 飼われていると思われるが、飼い主が特定できない動物	15.2%
3 野良犬や野良猫、野生動物など、飼い主のいない動物	38.5%
4 特にない	19.2%
(無回答)	3.4%
無効回答 (2つ以上選択された場合、無効回答とさせていただきました)	2.7%

動物のことで迷惑を感じたことがあるか、また、それはどんな動物からかについては、「野良犬や野良猫、野生動物など、飼い主のいない動物」が38.5%で4割近くを占め最も高く、次いで「飼い主が分かっている動物」が21.0%、「特にない」が19.2%などとなっている。

〈 動物のことで迷惑を感じたことがあるか、また、それはどんな動物からか 〉



### (11) 災害時にペットに関して一番不安なこと

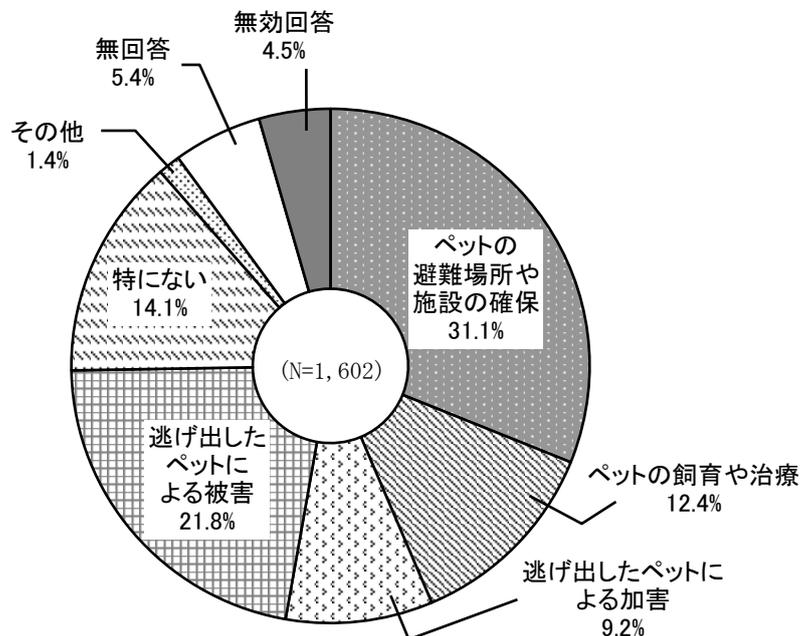
問7 災害時にペットに関する事で、一番不安なことは何ですか。次の中から主なものを1つだけ選んでください。

[回答者数=1,602]

1	ペットの避難場所や施設の確保	31.1%
2	ペットの飼育や治療	12.4%
3	逃げ出したペットによる加害	9.2%
4	逃げ出したペットによる被害	21.8%
5	特にない	14.1%
6	その他（具体的に： )	1.4%
	(無回答)	5.4%
	無効回答（2つ以上選択された場合、無効回答とさせていただきました）	4.5%

災害時にペットに関して一番不安なことについては、「ペットの避難場所や施設の確保」が31.1%で3割を超え最も高く、次いで「逃げ出したペットによる被害」が21.8%、「特にない」が14.1%などとなっている。

#### ＜ 災害時にペットに関して一番不安なこと ＞



## (12) 今後、動物愛護管理事業として最も取り組むべき事業

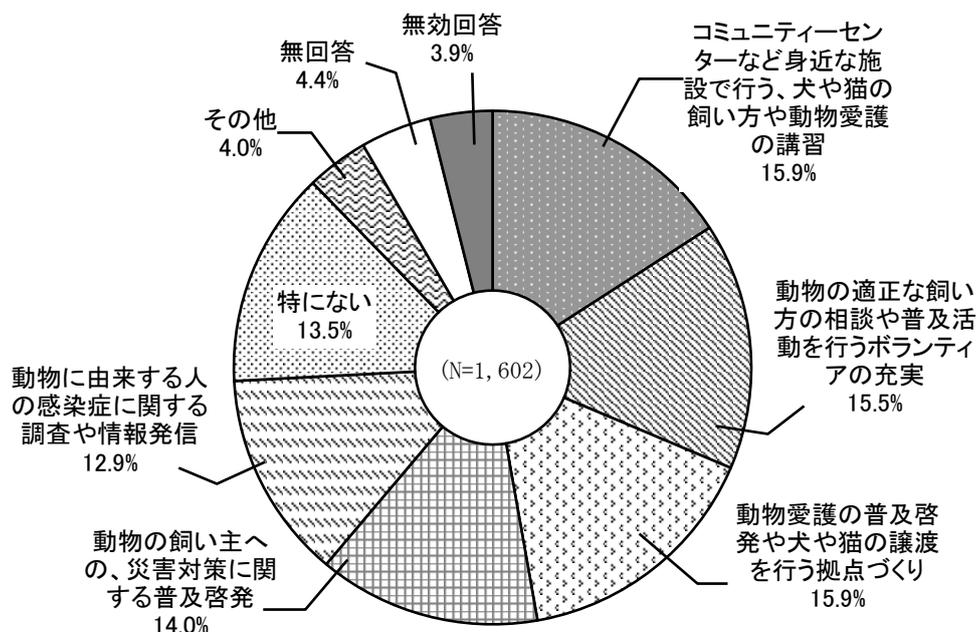
問8 今後、動物愛護管理事業として最も取り組むべきと思われる事業は何ですか。次の中から1つだけ選んで下さい。

[回答者数=1,602]

1 コミュニティーセンターなど身近な施設で行う、犬や猫の飼い方や動物愛護の講習	15.9%
2 動物の適正な飼い方の相談や普及活動を行うボランティアの充実	15.5%
3 動物愛護の普及啓発や犬や猫の譲渡を行う拠点づくり	15.9%
4 動物の飼い主への、災害対策に関する普及啓発	14.0%
5 動物に由来する人の感染症に関する調査や情報発信	12.9%
6 特になし	13.5%
7 その他（具体的に： )	4.0%
(無回答)	4.4%
無効回答（2つ以上選択された場合、無効回答とさせていただきます）	3.9%

今後、動物愛護管理事業として最も取り組むべき事業については、「コミュニティーセンターなど身近な施設で行う、犬や猫の飼い方や動物愛護の講習」、「動物愛護の普及啓発や犬や猫の譲渡を行う拠点づくり」がともに 15.9%で最も高く、次いで「動物の適正な飼い方の相談や普及活動を行うボランティアの充実」が 15.5%などとなっている。

### ＜ 今後、動物愛護管理事業として最も取り組むべき事業 ＞



### 3 ボランティア・NPO活動について

#### (1) ボランティアやNPO活動にどの程度関心があるか

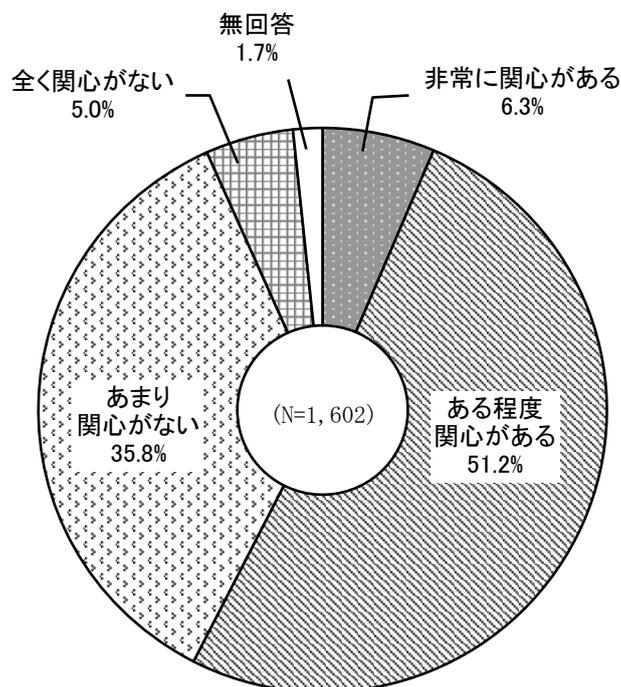
問9 あなたは、ボランティアやNPO活動にどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,602〕

1 非常に関心がある	6.3%
2 ある程度関心がある	51.2%
3 あまり関心がない	35.8%
4 全く関心がない	5.0%
(無回答)	1.7%

ボランティアやNPO活動にどの程度関心があるかについては、「ある程度関心がある」が51.2%と半数を超え最も高く、これに「非常に関心がある」の6.3%を合わせた【関心がある】が57.5%と6割近くを占める。一方、「あまり関心がない」が35.8%で、「全く関心がない」の5.0%をあわせた【関心がない】は40.8%となっている。

#### 〈 ボランティアやNPO活動にどの程度関心があるか 〉



## (2) ボランティアやNPO活動をしたことがあるか

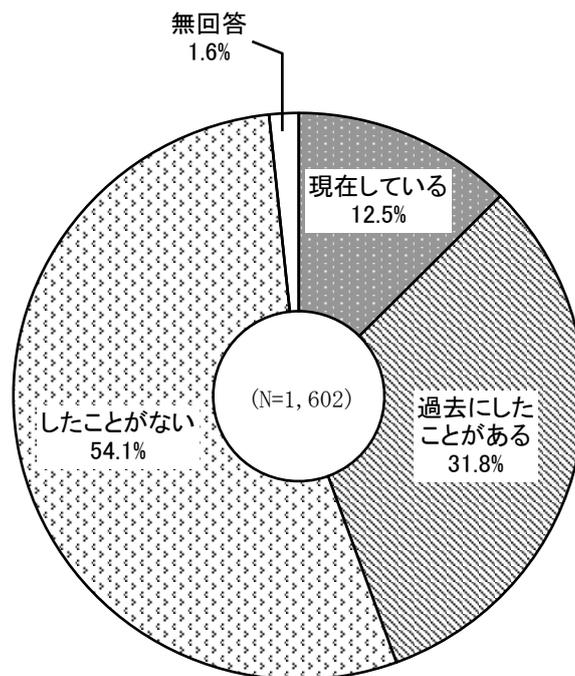
問 10 あなたは、これまでにボランティアやNPO活動をしたことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,602〕

1 現在している	12.5%
2 過去にしたことがある	31.8%
3 したことがない	54.1%
(無回答)	1.6%

ボランティアやNPO活動をしたことがあるかについては、「したことがない」が54.1%と半数を超え最も高く、次いで「過去にしたことがある」が31.8%となっている。また、「現在している」は12.5%となっている。

### く ボランティアやNPO活動をしたことがあるか >



### (3) したことがあるボランティアやNPO活動について

<問10で「1」または「2」と答えた方にお聞きします>

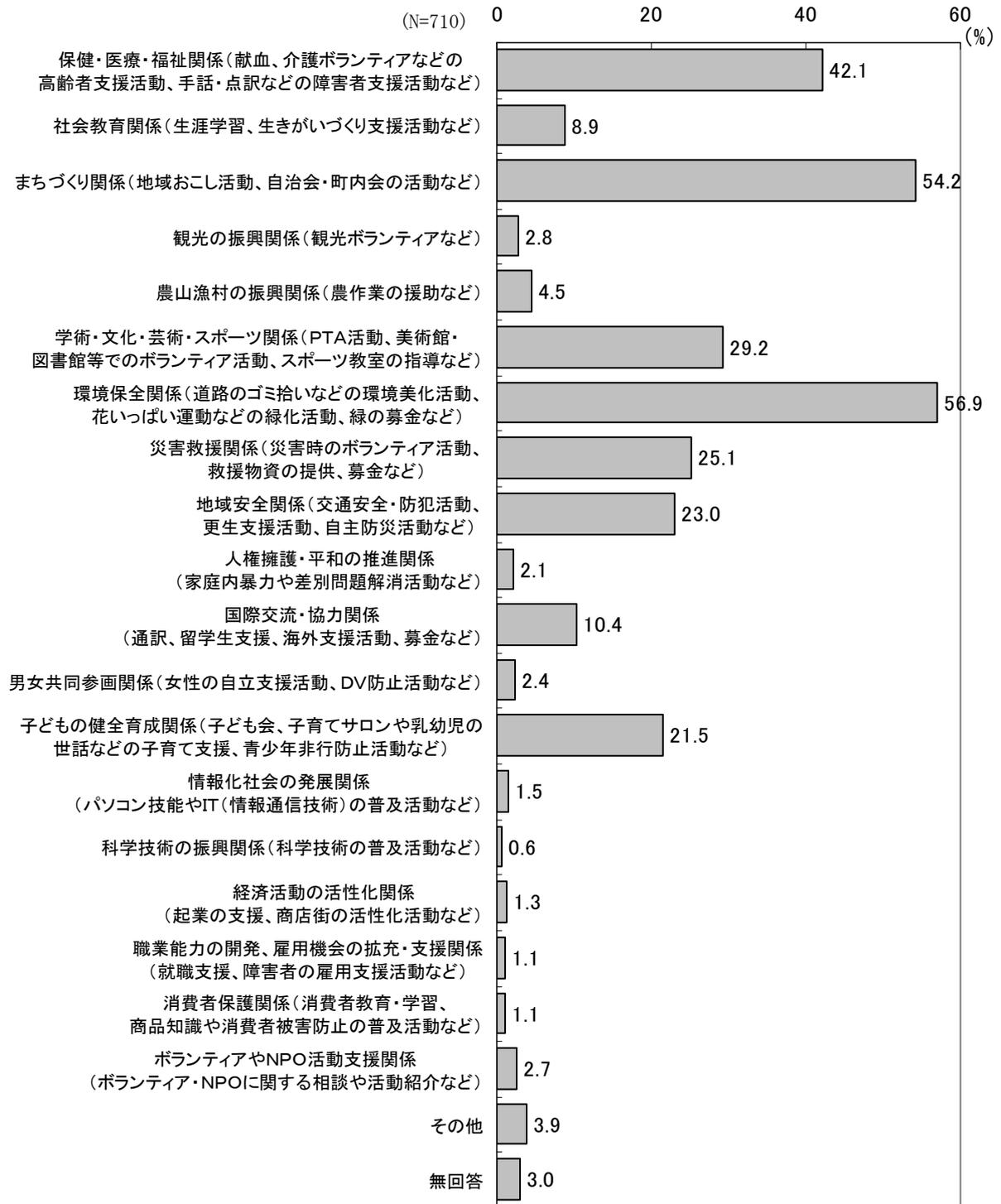
付問1 あなたがこれまでにしたことがあるボランティアやNPO活動を次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=710]

1 保健・医療・福祉関係（献血、介護ボランティアなどの高齢者支援活動、手話・点訳などの障害者支援活動など）	42.1%
2 社会教育関係（生涯学習、生きがいつくり支援活動など）	8.9%
3 まちづくり関係（地域おこし活動、自治会・町内会の活動など）	54.2%
4 観光の振興関係（観光ボランティアなど）	2.8%
5 農山漁村の振興関係（農作業の援助など）	4.5%
6 学術・文化・芸術・スポーツ関係（PTA活動、美術館・図書館等でのボランティア活動、スポーツ教室の指導など）	29.2%
7 環境保全関係（道路のゴミ拾いなどの環境美化活動、花いっぱい運動などの緑化活動、緑の募金など）	56.9%
8 災害救援関係（災害時のボランティア活動、救援物資の提供、募金など）	25.1%
9 地域安全関係（交通安全・防犯活動、更生支援活動、自主防災活動など）	23.0%
10 人権擁護・平和の推進関係（家庭内暴力や差別問題解消活動など）	2.1%
11 国際交流・協力関係（通訳、留学生支援、海外支援活動、募金など）	10.4%
12 男女共同参画関係（女性の自立支援活動、DV防止活動など）	2.4%
13 子どもの健全育成関係（子ども会、子育てサロンや乳幼児の世話などの子育て支援、青少年非行防止活動など）	21.5%
14 情報化社会の発展関係（パソコン技能やIT（情報通信技術）の普及活動など）	1.5%
15 科学技術の振興関係（科学技術の普及活動など）	0.6%
16 経済活動の活性化関係（起業の支援、商店街の活性化活動など）	1.3%
17 職業能力の開発、雇用機会の拡充・支援関係（就職支援、障害者の雇用支援活動など）	1.1%
18 消費者保護関係（消費者教育・学習、商品知識や消費者被害防止の普及活動など）	1.1%
19 ボランティアやNPO活動支援関係（ボランティア・NPOに関する相談や活動紹介など）	2.7%
20 その他（具体的に： )	3.9%
（無回答）	3.0%

したことがあるボランティアやNPO活動については、「環境保全関係（道路のゴミ拾いなどの環境美化活動、花いっぱい運動などの緑化活動、緑の募金など）」が56.9%と半数を超え最も高く、次いで「まちづくり関係（地域おこし活動、自治会・町内会の活動など）」が54.2%などとなっている。

く したことがあるボランティアやNPO活動について 〉



#### (4) ボランティアやNPO活動をしたことがない理由

<問10で「3」と答えた方にお聞きします>

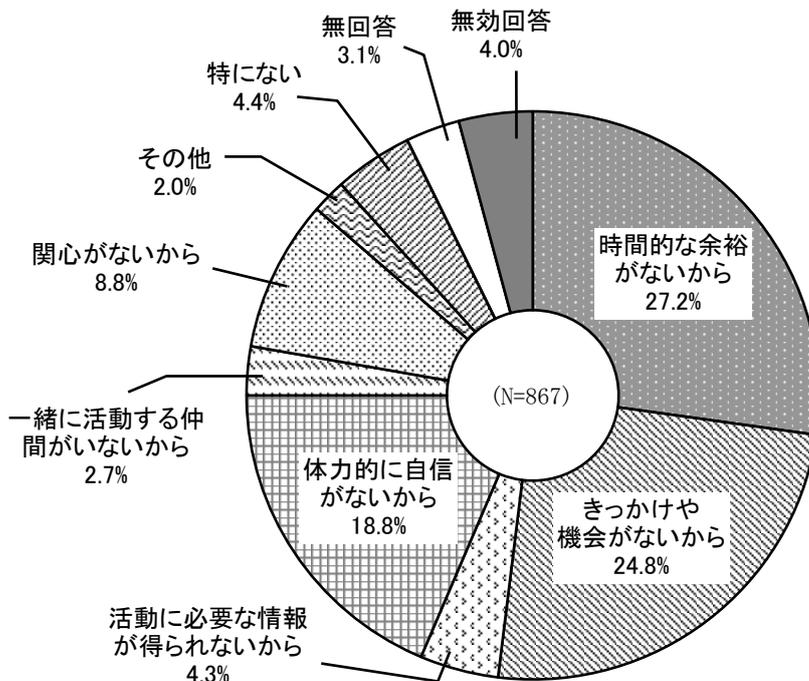
付問2 あなたがボランティアやNPO活動をしたことがない理由を、次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=867]

1 時間的な余裕がないから	27.2%
2 きっかけや機会がないから	24.8%
3 活動に必要な情報が得られないから	4.3%
4 体力的に自信がないから	18.8%
5 一緒に活動する仲間がないから	2.7%
6 関心がないから	8.8%
7 その他（具体的に： )	2.0%
8 特にない	4.4%
(無回答)	3.1%
無効回答（2つ以上選択された場合、無効回答とさせていただきます）	4.0%

ボランティアやNPO活動をしたことがない理由については、「時間的な余裕がないから」が27.2%と最も高く、次いで「きっかけや機会がないから」が24.8%、「体力的に自信がないから」が18.8%などとなっている。

#### < ボランティアやNPO活動をしたことがない理由 >



### (5) 今後、ボランティアやNPO活動をしたいと思うか

<問10で「2」または「3」と答えた方にお聞きします>

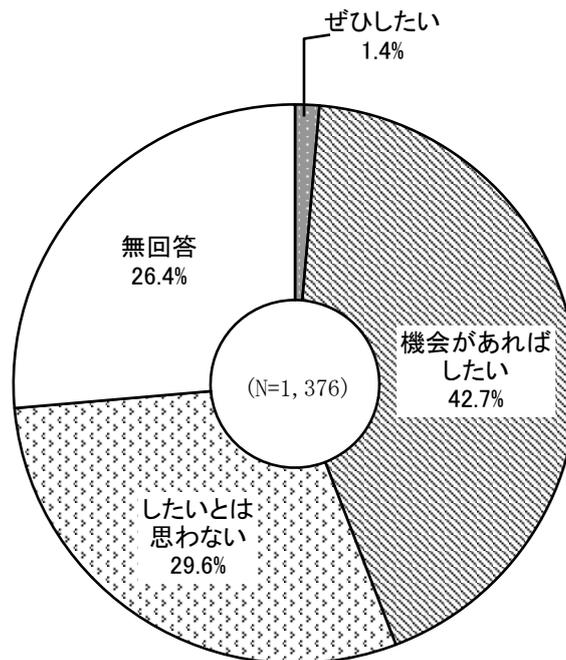
付問3 あなたは、今後ボランティアやNPO活動をしたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,376]

1 ぜひしたい	1.4%
2 機会があればしたい	42.7%
3 したいとは思わない	29.6%
(無回答)	26.4%

今後、ボランティアやNPO活動をしたいと思うかについては、「機会があればしたい」が42.7%と4割を超え最も高く、これに「ぜひしたい」の1.4%を合わせた【したいと思う】が44.1%となっている。一方、「したいとは思わない」は29.6%となっている。

#### < 今後、ボランティアやNPO活動をしたいと思うか >



**(6) 今後、してみたいボランティアやNPO活動**

<付問3で「1」または「2」と答えた方にお聞きします>

付問3 今後してみたいボランティアやNPO活動を問10付問1の1～20までの活動分野から2つまで選んで、番号を記入してください。

(1) …ぜひしたいと回答した人の希望する活動分野

(2) …機会があればしたいと回答した人の希望する活動分野

[回答者数=606]

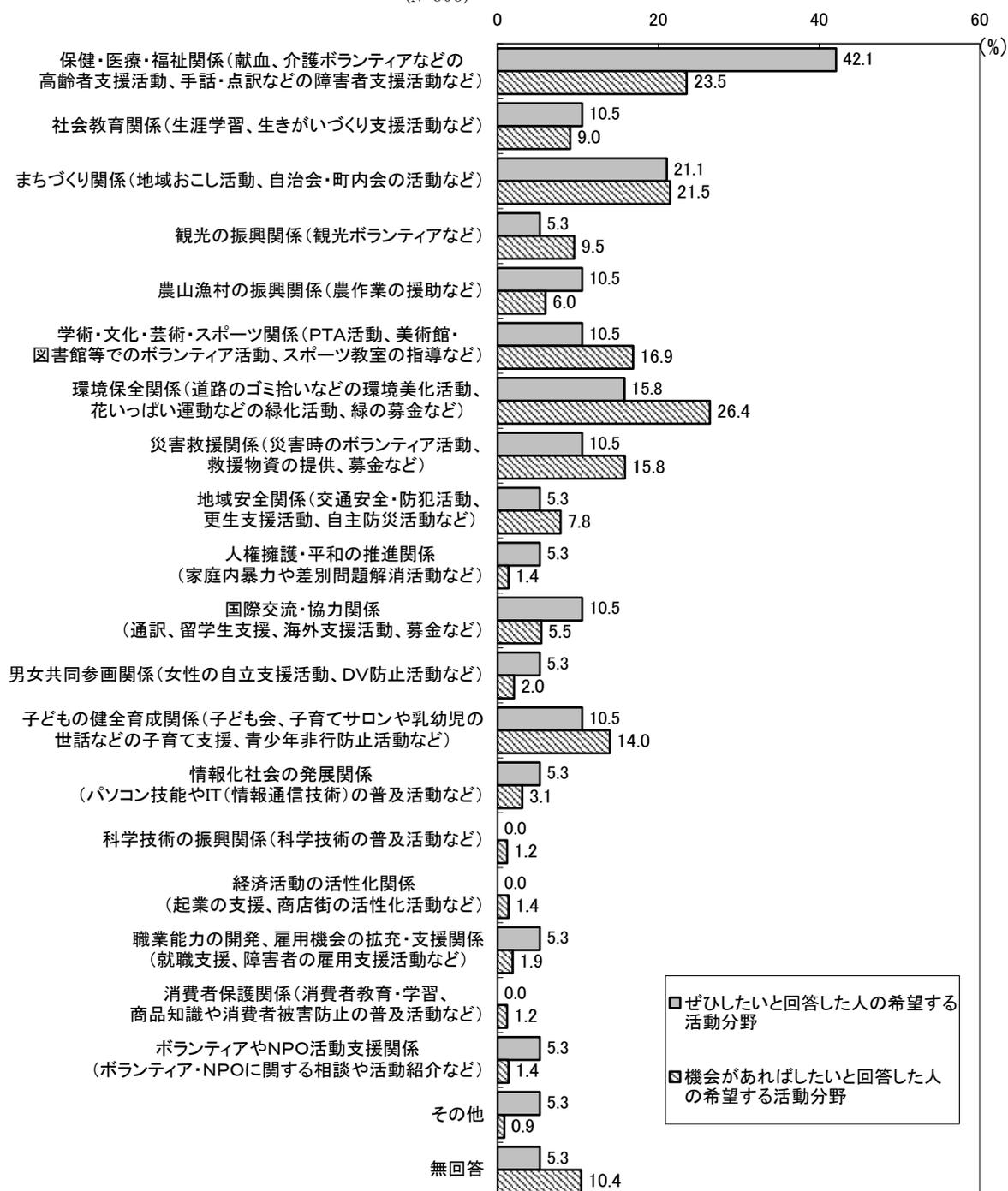
	(1)	(2)
1 保健・医療・福祉関係（献血、介護ボランティアなどの高齢者支援活動、手話・点訳などの障害者支援活動など）	42.1%	23.5%
2 社会教育関係（生涯学習、生きがいつくり支援活動など）	10.5%	9.0%
3 まちづくり関係（地域おこし活動、自治会・町内会の活動など）	21.1%	21.5%
4 観光の振興関係（観光ボランティアなど）	5.3%	9.5%
5 農山漁村の振興関係（農作業の援助など）	10.5%	6.0%
6 学術・文化・芸術・スポーツ関係（PTA活動、美術館・図書館等でのボランティア活動、スポーツ教室の指導など）	10.5%	16.9%
7 環境保全関係（道路のゴミ拾いなどの環境美化活動、花いっぱい運動などの緑化活動、緑の募金など）	15.8%	26.4%
8 災害救援関係（災害時のボランティア活動、救援物資の提供、募金など）	10.5%	15.8%
9 地域安全関係（交通安全・防犯活動、更生支援活動、自主防災活動など）	5.3%	7.8%
10 人権擁護・平和の推進関係（家庭内暴力や差別問題解消活動など）	5.3%	1.4%
11 国際交流・協力関係（通訳、留学生支援、海外支援活動、募金など）	10.5%	5.5%
12 男女共同参画関係（女性の自立支援活動、DV防止活動など）	5.3%	2.0%
13 子どもの健全育成関係（子ども会、子育てサロンや乳幼児の世話などの子育て支援、青少年非行防止活動など）	10.5%	14.0%
14 情報化社会の発展関係（パソコン技能やIT（情報通信技術）の普及活動など）	5.3%	3.1%
15 科学技術の振興関係（科学技術の普及活動など）	0.0%	1.2%
16 経済活動の活性化関係（起業の支援、商店街の活性化活動など）	0.0%	1.4%
17 職業能力の開発、雇用機会の拡充・支援関係（就職支援、障害者の雇用支援活動など）	5.3%	1.9%
18 消費者保護関係（消費者教育・学習、商品知識や消費者被害防止の普及活動など）	0.0%	1.2%
19 ボランティアやNPO活動支援関係（ボランティア・NPOに関する相談や活動紹介など）	5.3%	1.4%
20 その他（具体的に： )	5.3%	0.9%
無回答	5.3%	10.4%

今後、してみたいボランティアやNPO活動について、『ぜひしたいと回答した人の希望する活動分野』では「保健・医療・福祉関係（献血、介護ボランティアなどの高齢者支援活動、手話・点訳などの障害者支援活動など）」が42.1%で最も高く、次いで「まちづくり関係（地域おこし活動、自治会・町内会の活動など）」が21.1%などとなっている。

また、『機会があればしたいと回答した人の希望する活動分野』では「環境保全関係（道路のゴミ拾いなどの環境美化活動、花いっぱい運動などの緑化活動、緑の募金など）」が26.4%と最も高く、次いで「保健・医療・福祉関係（献血、介護ボランティアなどの高齢者支援活動、手話・点訳などの障害者支援活動など）」が23.5%などとなっている。

〈 今後、してみたいボランティアやNPO活動 〉

(N=606)



## 4 地方分権と広域連携について

### (1) 地方分権により、国から地方（県・市町）へ事務の権限や税財源を移すことについて

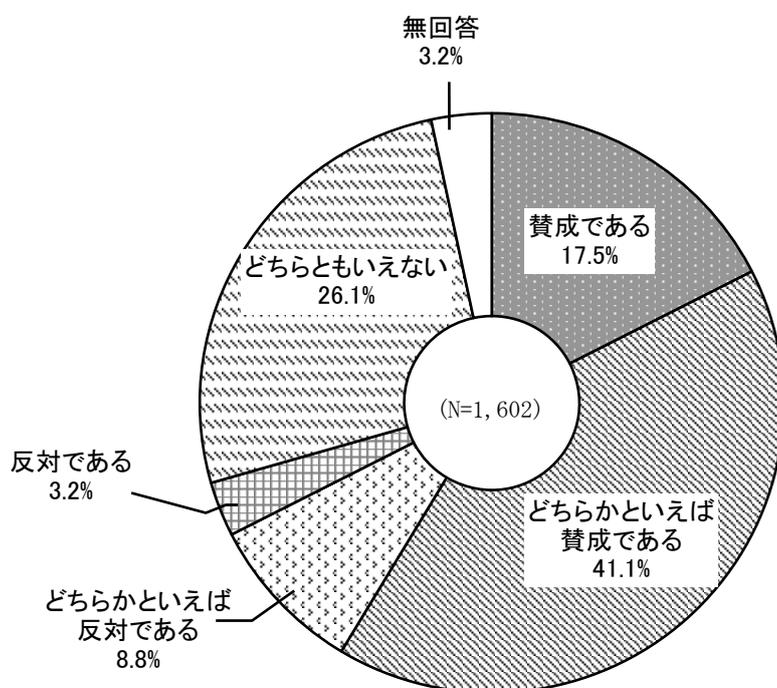
問 11 あなたは「地方分権」により、国から地方（県・市町）へ事務の権限や税財源を移すことについて、どのように考えますか。あなたの考えに一番近いものを1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,602〕

1 賛成である	17.5%
2 どちらかといえば賛成である	41.1%
3 どちらかといえば反対である	8.8%
4 反対である	3.2%
5 どちらともいえない	26.1%
(無回答)	3.2%

地方分権により、国から地方（県・市町）へ事務の権限や税財源を移すことについては、「どちらかといえば賛成である」が41.1%と4割を超え最も高く、これに「賛成である」の17.5%を合わせた【賛成である】が58.6%と6割近くを占める。一方、「反対である」が3.2%で、これに「どちらかといえば反対である」の8.8%を合わせた【反対である】は12.0%と2割未満となっている。また、「どちらともいえない」は26.1%となっている。

#### 〈 地方分権により、国から地方（県・市町）へ事務の権限や税財源を移すことについて 〉



## (2) 事務の権限や税財源を移すことに賛成である理由

<問 11 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします>

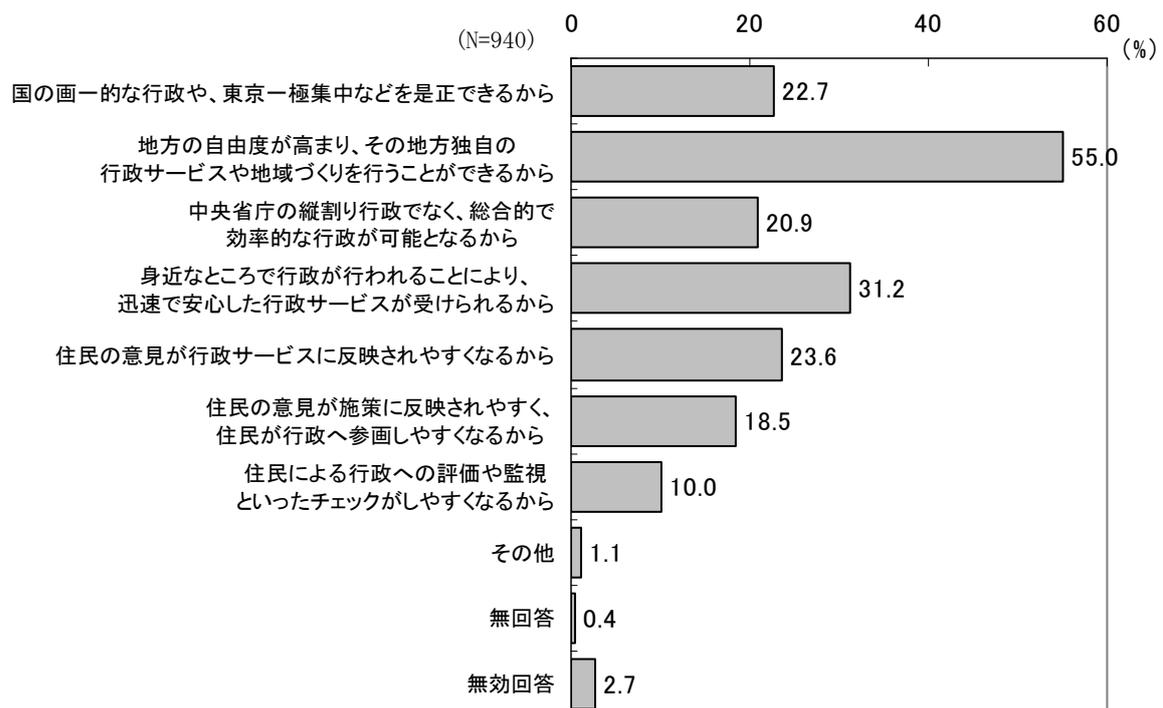
付問 1 賛成であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

[回答者数=940]

1 国の画一的な行政や、東京一極集中などを是正できるから	22.7%
2 地方の自由度が高まり、その地方独自の行政サービスや地域づくりを行うことができるから	55.0%
3 中央省庁の縦割り行政でなく、総合的で効率的な行政が可能となるから	20.9%
4 身近なところで行政が行われることにより、迅速で安心した行政サービスが受けられるから	31.2%
5 住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから	23.6%
6 住民の意見が施策に反映されやすく、住民が行政へ参画しやすくなるから	18.5%
7 住民による行政への評価や監視といったチェックがしやすくなるから	10.0%
8 その他（具体的に： )	1.1%
(無回答)	0.4%
無効回答（3つ以上選択された場合、無効回答とさせていただきます）	2.7%

事務の権限や税財源を移すことに賛成である理由については、「地方の自由度が高まり、その地方独自の行政サービスや地域づくりを行うことができるから」が 55.0%と半数を超え最も高く、次いで「身近なところで行政が行われることにより、迅速で安心した行政サービスが受けられるから」が 31.2%などとなっている。

### < 事務の権限や税財源を移すことに賛成である理由 >



### (3) 事務の権限や税財源を移すことに反対である理由

<問 11 で「3」または「4」と答えた方にお聞きします>

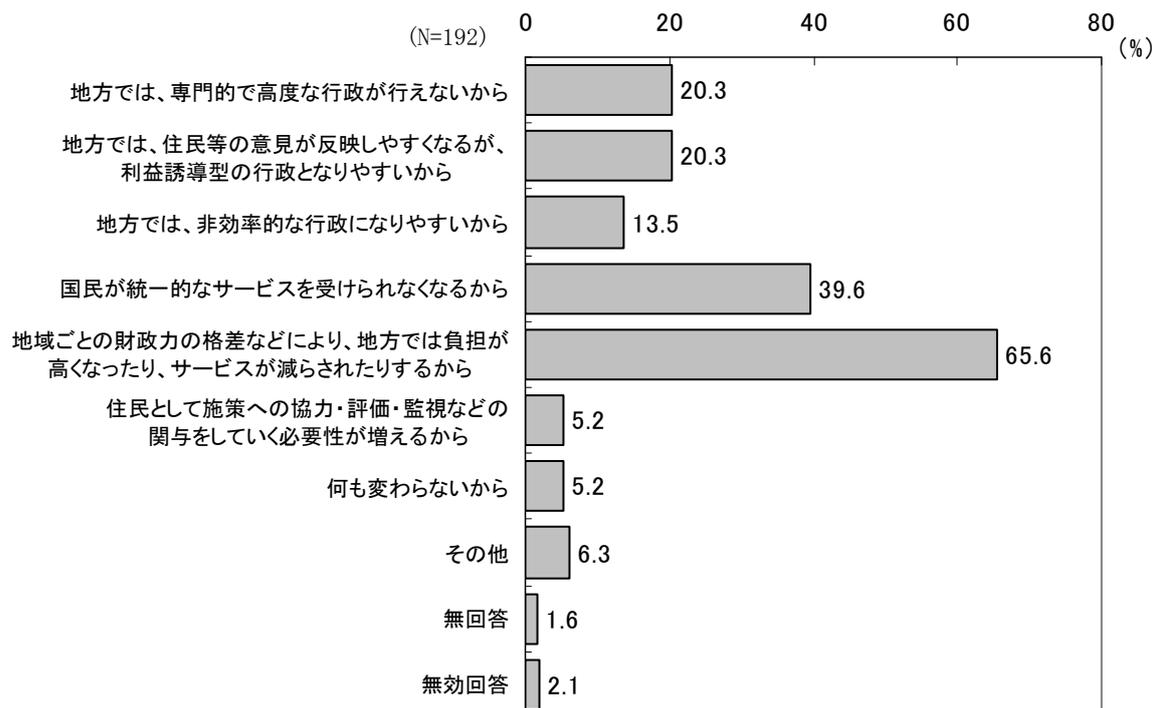
付問 2 反対であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

[回答者数=192]

1 地方では、専門的で高度な行政が行えないから	20.3%
2 地方では、住民等の意見が反映しやすくなるが、利益誘導型の行政となりやすいから	20.3%
3 地方では、非効率的な行政になりやすいから	13.5%
4 国民が統一的なサービスを受けられなくなるから	39.6%
5 地域ごとの財政力の格差などにより、地方では負担が高くなったり、サービスが減らされたりするから	65.6%
6 住民として施策への協力・評価・監視などの関与をしていく必要性が増えるから	5.2%
7 何も変わらないから	5.2%
8 その他（具体的に： )	6.3%
(無回答)	1.6%
無効回答（3つ以上選択された場合、無効回答とさせていただきました）	2.1%

事務の権限や税財源を移すことに反対である理由については、「地域ごとの財政力の格差などにより、地方では負担が高くなったり、サービスが減らされたりするから」が 65.6%と6割を超え最も高く、次いで「国民が統一的なサービスを受けられなくなるから」が 39.6%などとなっている。

#### < 事務の権限や税財源を移すことに反対である理由 >



#### (4) 広域連携のあり方について

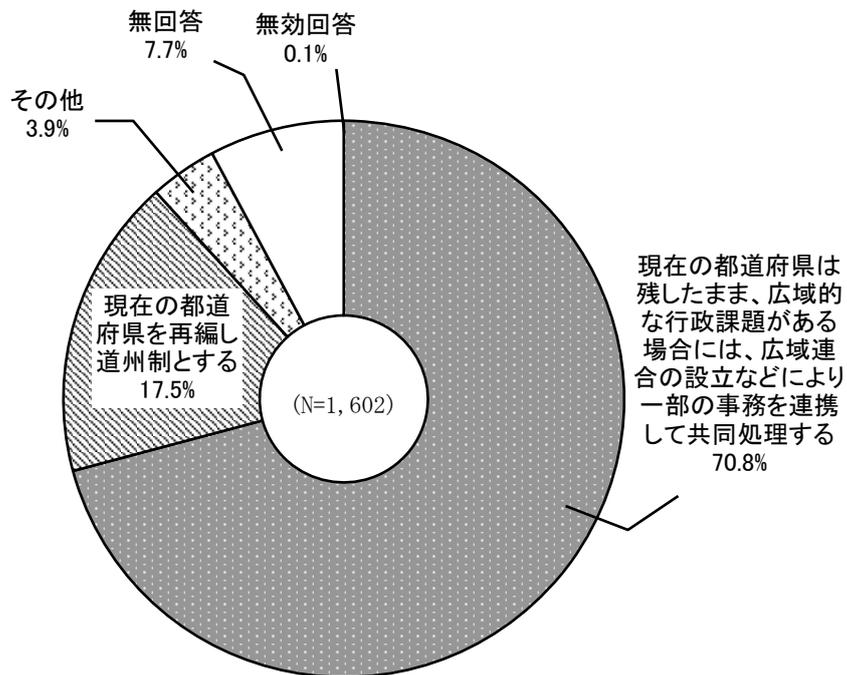
問 12 あなたは、広域連携のあり方をどのように考えますか。あなたの考えに一番近いものを1つだけ選んでください。

[回答者数=1,602]

- |  |       |
|--|-------|
| 1 現在の都道府県は残したまま、広域的な行政課題がある場合には、<br>広域連合の設立などにより一部の事務を連携して共同処理する | 70.8% |
| 2 現在の都道府県を再編し、道州制とする   | 17.5% |
| 3 その他（具体的に： )  | 3.9%  |
| (無回答)  | 7.7%  |
| 無効回答（2つ以上選択された場合、無効回答とさせていただきました）                                | 0.1%  |

広域連携のあり方については、「現在の都道府県は残したまま、広域的な行政課題がある場合には、広域連合の設立などにより一部の事務を連携して共同処理する」が70.8%と7割を超え最も高く、次いで「現在の都道府県を再編し、道州制とする」が17.5%などとなっている。

#### 〈 広域連携のあり方について 〉



### (5) 道州制について

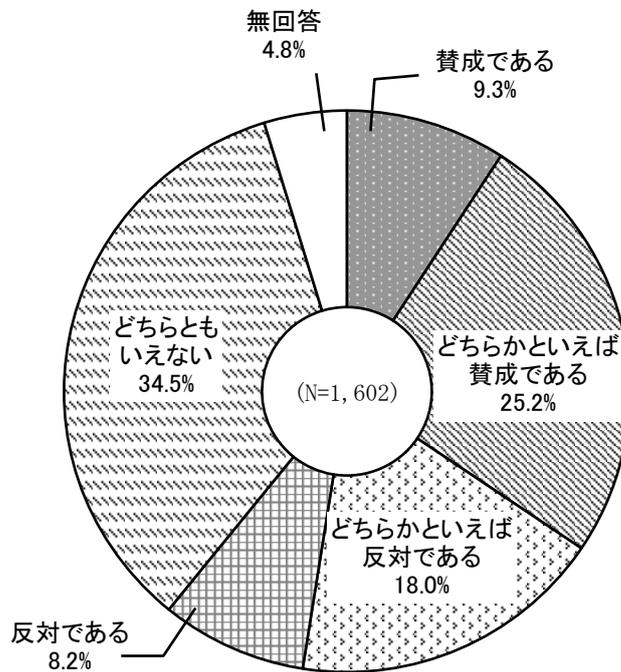
問 13 あなたは、道州制についてどう考えますか。あなたの考えに一番近いものを1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,602〕

1 賛成である	9.3%
2 どちらかといえば賛成である	25.2%
3 どちらかといえば反対である	18.0%
4 反対である	8.2%
5 どちらともいえない	34.5%
(無回答)	4.8%

道州制については、「どちらともいえない」が34.5%と3割を超え最も高くなっている。「賛成である」が9.3%で、これに「どちらかといえば賛成である」の25.2%を合わせた【賛成である】が34.5%となっており3割を超える。一方、「反対である」が8.2%で、これに「どちらかといえば反対である」の18.0%を合わせた【反対である】は26.2%と3割未満となっている。

#### < 道州制について >



## (6) 道州制に賛成である理由

<問13で「1」または「2」と答えた方にお聞きします>

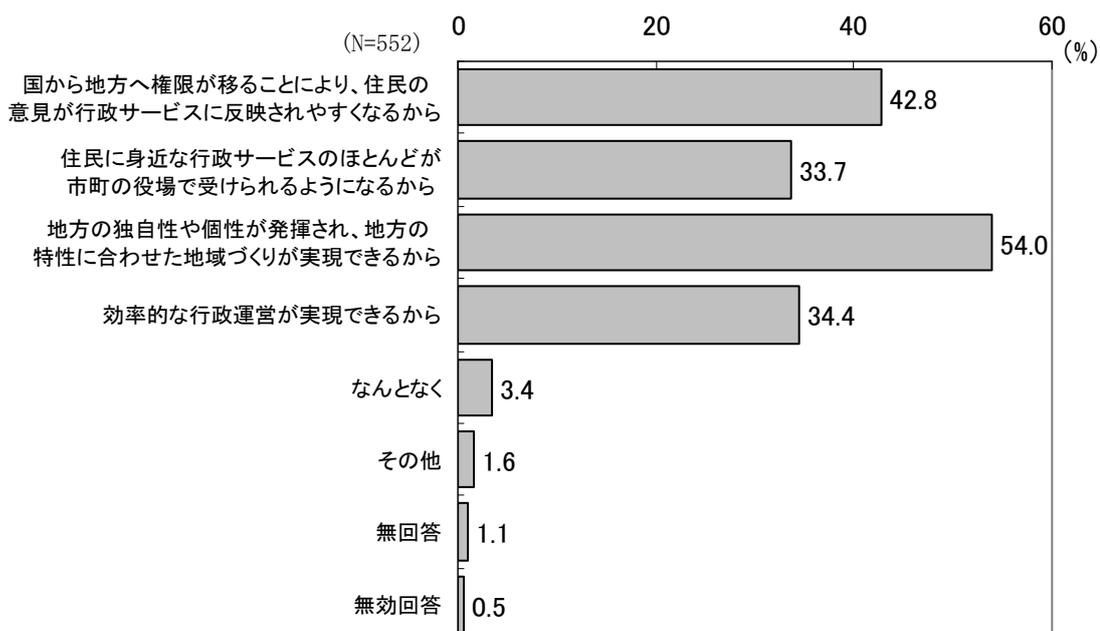
付問1 賛成であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

[回答者数=552]

1 国から地方へ権限が移ることにより、住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから	42.8%
2 住民に身近な行政サービスのほとんどが市町の役場で受けられるようになるから	33.7%
3 地方の独自性や個性が発揮され、地方の特性に合わせた地域づくりが実現できるから	54.0%
4 効率的な行政運営が実現できるから	34.4%
5 なんとなく	3.4%
6 その他（具体的に： )	1.6%
(無回答)	1.1%
無効回答（3つ以上選択された場合、無効回答とさせていただきます）	0.5%

道州制に賛成である理由については、「地方の独自性や個性が発揮され、地方の特性に合わせた地域づくりが実現できるから」が54.0%と半数を超え最も高く、次いで「国から地方へ権限が移ることにより、住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから」が42.8%などとなっている。

### < 道州制に賛成である理由 >



## (7) 道州制に反対である理由

<問13で「3」または「4」と答えた方にお聞きします>

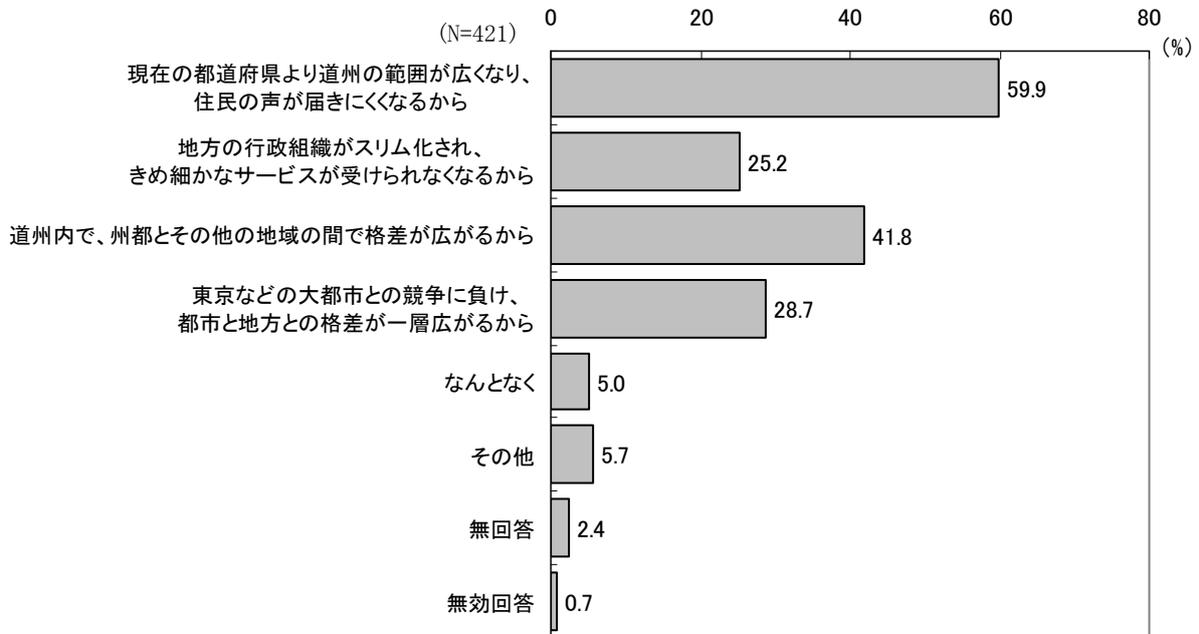
付問2 反対であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

[回答者数=421]

1 現在の都道府県より道州の範囲が広くなり、住民の声が届きにくくなるから	59.9%
2 地方の行政組織がスリム化され、きめ細かなサービスが受けられなくなるから	25.2%
3 道州内で、州都とその他の地域の間で格差が広がるから	41.8%
4 東京などの大都市との競争に負け、都市と地方との格差が一層広がるから	28.7%
5 なんとなく	5.0%
6 その他（具体的に： )	5.7%
(無回答)	2.4%
無効回答（3以上選択された場合、無効回答とさせていただきます）	0.7%

道州制に反対である理由については、「現在の都道府県より道州の範囲が広くなり、住民の声が届きにくくなるから」が59.9%と6割近くを占め最も高く、次いで「道州内で、州都とその他の地域の間で格差が広がるから」が41.8%などとなっている。

### < 道州制に反対である理由 >



**(8) 道州の区域割りについて、香川県を含む州はどのような区域がよいか**

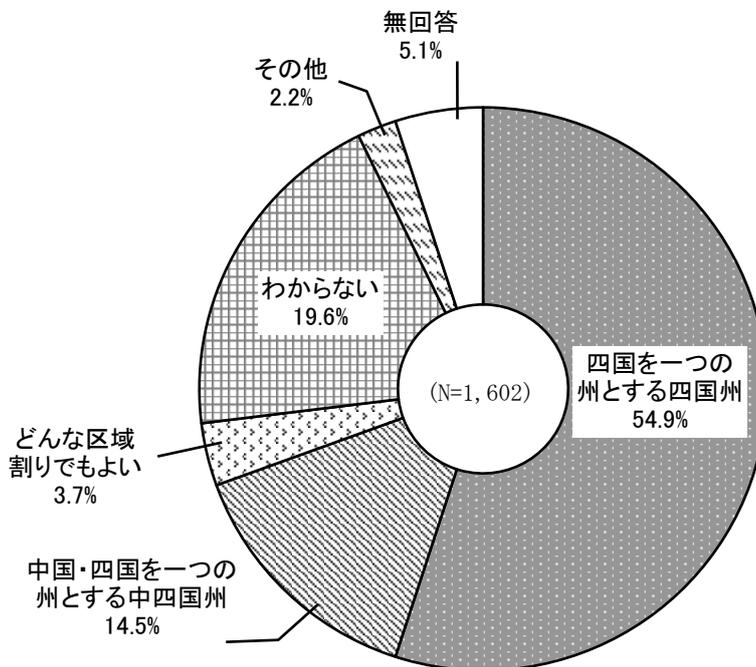
問 14 道州の区域割りについておたずねします。もし道州制になるとすれば、現在の香川県を含む州はどのような区域がよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

[回答者数=1,602]

1 四国を一つの州とする四国州	54.9%
2 中国・四国を一つの州とする中四国州	14.5%
3 どんな区域割りでもよい	3.7%
4 わからない	19.6%
5 その他（具体的に： （無回答）	2.2% 5.1%

道州の区域割りについて、香川県を含む州はどのような区域がよいかについては、「四国を一つの州とする四国州」が54.9%と半数を超え最も高く、次いで「わからない」が19.6%となっている。また、「中国・四国を一つの州とする中四国州」が14.5%、「どんな区域割りでもよい」が3.7%となっている。

＜ 道州の区域割りについて、香川県を含む州はどのような区域がよいか ＞



## 5 TPP（環太平洋パートナーシップ）について

### (1) TPPの内容について

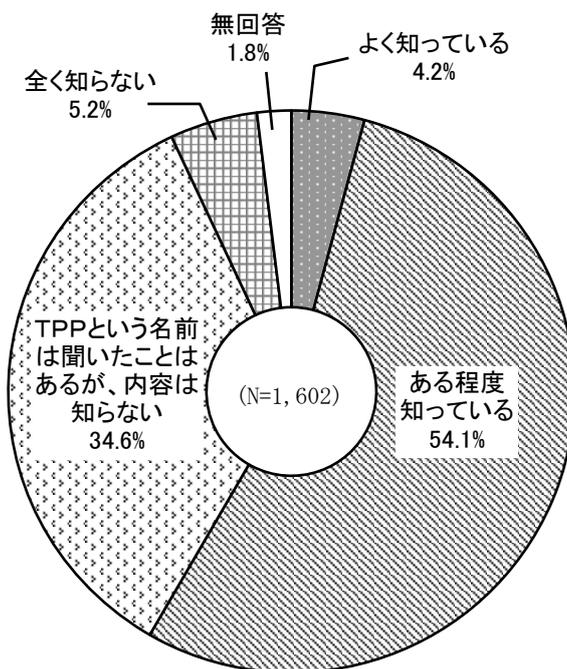
問 15 TPPの内容について、あなたは知っていますか。

〔回答者数=1,602〕

1 よく知っている	4.2%
2 ある程度知っている	54.1%
3 TPPという名前は聞いたことはあるが、内容は知らない	34.6%
4 全く知らない	5.2%
(無回答)	1.8%

TPPの内容については、「ある程度知っている」が54.1%と半数を超え最も高く、これに「よく知っている」の4.2%を合わせた【知っている】が58.3%と6割近くを占める。一方、「TPPという名前は聞いたことはあるが、内容は知らない」が34.6%で、これに「全く知らない」の5.2%を合わせた【知らない】は39.8%と4割未満となっている。

#### < TPPの内容について >



## (2) 日本がTPP協定に参加することについて

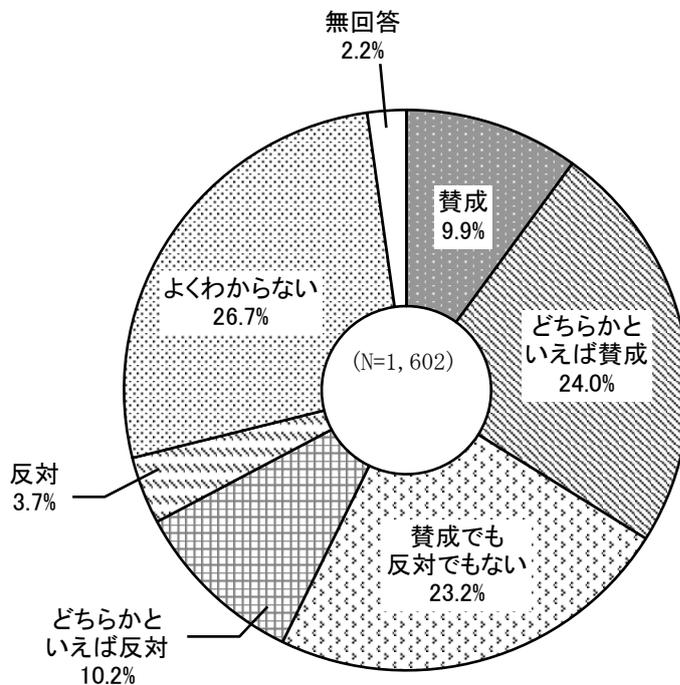
問 16 日本がTPP協定に参加することについて、あなたはどのように考えますか。あなたの考え方に近いものを1つだけ選択してください。

〔回答者数=1,602〕

1 賛成	9.9%
2 どちらかといえば賛成	24.0%
3 賛成でも反対でもない	23.2%
4 どちらかといえば反対	10.2%
5 反対	3.7%
6 よくわからない (無回答)	26.7%
	2.2%

日本がTPP協定に参加することについては、「よくわからない」が26.7%と最も高くなっており、これに「賛成でも反対でもない」の23.2%を合わせた【賛成でも反対でもない】が49.9%となっている。また、「賛成」が9.9%で、これに「どちらかといえば賛成」の24.0%を合わせた【賛成である】は33.9%で3割を超えている。一方、「反対」が3.7%で、これに「どちらかといえば反対」の10.2%を合わせた【反対である】は13.9%と2割未満となっている。

### < 日本がTPP協定に参加することについて >



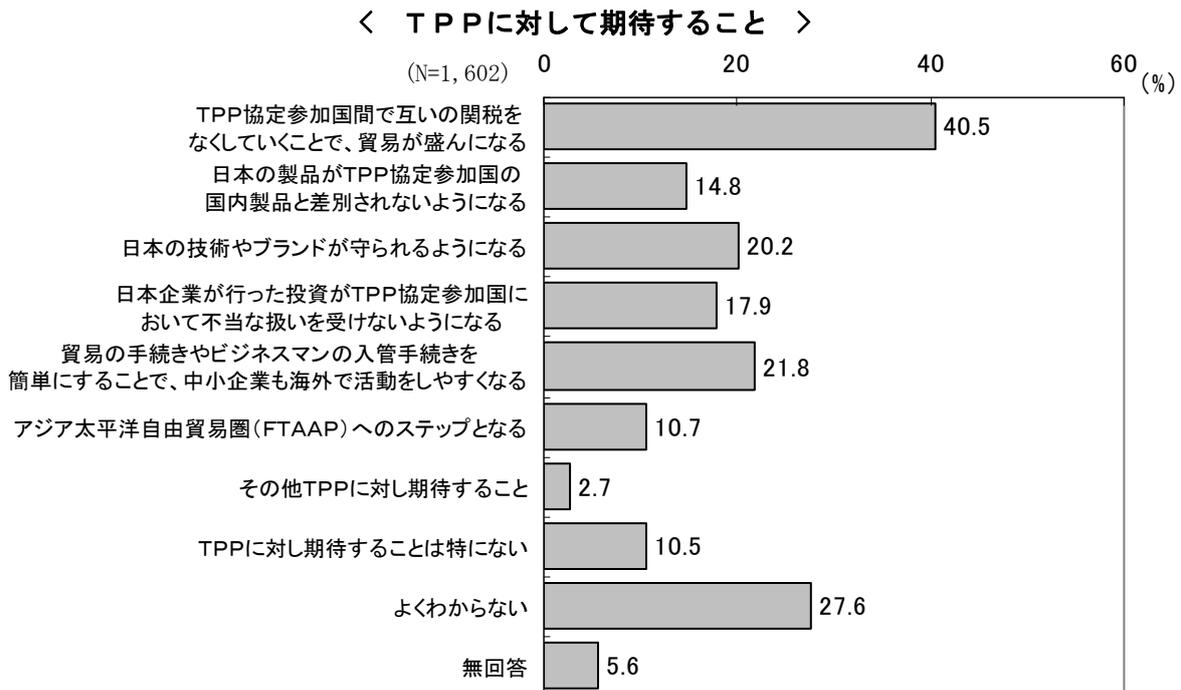
### (3) TPPに対して期待すること

問 17 あなたがTPPに対して期待することは何ですか。あなたの考え方に近いものを選択してください。(あてはまるものすべてを選んでください。)

[回答者数=1,602]

1 TPP協定参加国間で互いの関税をなくしていくことで、貿易が盛んになる	40.5%
2 日本の製品がTPP協定参加国の国内製品と差別されないようになる	14.8%
3 日本の技術やブランドが守られるようになる	20.2%
4 日本企業が行った投資がTPP協定参加国において不当な扱いを受けないようになる	17.9%
5 貿易の手続きやビジネスマンの入管手続きを簡単にすることで、中小企業も海外で活動をしやすくなる	21.8%
6 アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）へのステップとなる	10.7%
7 その他TPPに対し期待すること（ ）	2.7%
8 TPPに対し期待することは特にない	10.5%
9 よくわからない	27.6%
(無回答)	5.6%

TPPに対して期待することについては、「TPP協定参加国間で互いの関税をなくしていくことで、貿易が盛んになる」が40.5%と4割を超え最も高く、次いで「よくわからない」が27.6%、「貿易の手続きやビジネスマンの入管手続きを簡単にすることで、中小企業も海外で活動をしやすくなる」が21.8%などとなっている。



#### (4) TPPに対して懸念すること

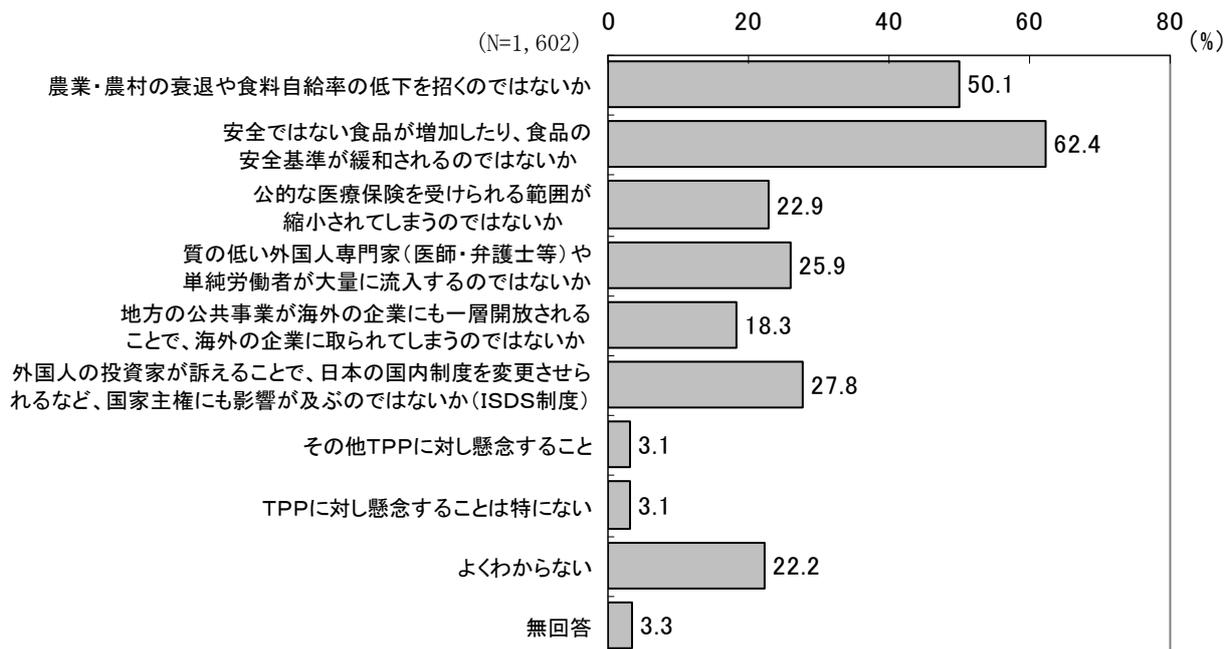
問 18 TPPに対する懸念について、あなたの考え方に近いものを選択してください。(あてはまるものすべてを選んでください。)

[回答者数=1,602]

1 農業・農村の衰退や食料自給率の低下を招くのではないか	50.1%
2 安全ではない食品が増加したり、食品の安全基準が緩和されるのではないか	62.4%
3 公的な医療保険を受けられる範囲が縮小されてしまうのではないか	22.9%
4 質の低い外国人専門家(医師・弁護士等)や単純労働者が大量に流入するのではないか	25.9%
5 地方の公共事業が海外の企業にも一層開放されることで、海外の企業に取られてしまうのではないか	18.3%
6 外国人の投資家が訴えることで、日本の国内制度を変更させられるなど、国家主権にも影響が及ぶのではないか (ISDS制度)	27.8%
7 その他TPPに対し懸念すること ( )	3.1%
8 TPPに対し懸念することは特にない	3.1%
9 よくわからない	22.2%
(無回答)	3.3%

TPPに対して懸念することについては、「安全ではない食品が増加したり、食品の安全基準が緩和されるのではないか」が62.4%と6割を超え最も高く、次いで「農業・農村の衰退や食料自給率の低下を招くのではないか」が50.1%、「外国人の投資家が訴えることで、日本の国内制度を変更させられるなど、国家主権にも影響が及ぶのではないか (ISDS制度)」が27.8%などとなっている。

#### ＜ TPPに対して懸念すること ＞



### (5) TPPに参加した場合に、国内・県内農業が受ける打撃への対処について

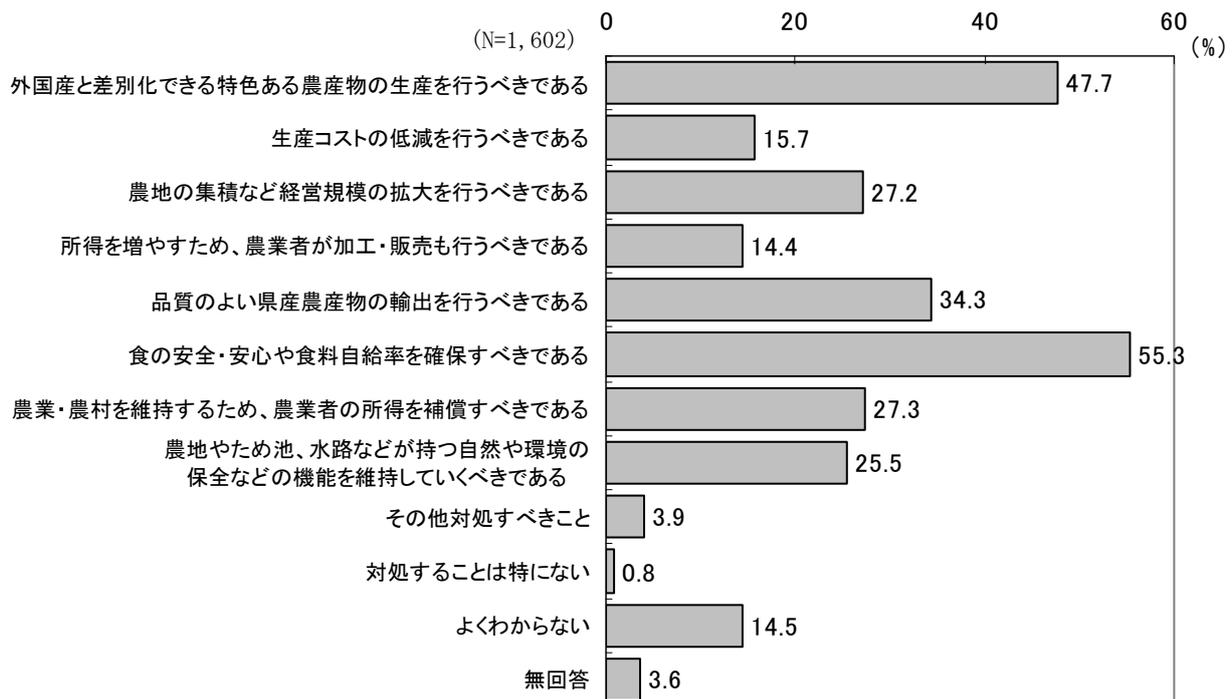
問 19 TPPに参加した場合、安価な農産物の輸入が増加し、国内・県内農業が大きな打撃を受けると言われていますが、このことに対して、どう対処すべきと思われますか。(あてはまるものすべてを選んでください。)

[回答者数=1,602]

1 外国産と差別化できる特色ある農産物の生産を行うべきである	47.7%
2 生産コストの低減を行うべきである	15.7%
3 農地の集積など経営規模の拡大を行うべきである	27.2%
4 所得を増やすため、農業者が加工・販売も行うべきである	14.4%
5 品質のよい県産農産物の輸出を行うべきである	34.3%
6 食の安全・安心や食料自給率を確保すべきである	55.3%
7 農業・農村を維持するため、農業者の所得を補償すべきである	27.3%
8 農地やため池、水路などが持つ自然や環境の保全などの機能を維持して いくべきである	25.5%
9 その他対処すべきこと ( )	3.9%
10 対処することは特にない	0.8%
11 よくわからない (無回答)	14.5% 3.6%

TPPに参加した場合に、国内・県内農業が受ける打撃への対処については、「食の安全・安心や食料自給率を確保すべきである」が55.3%と半数を超え最も高く、次いで「外国産と差別化できる特色ある農産物の生産を行うべきである」が47.7%、「品質のよい県産農産物の輸出を行うべきである」が34.3%などとなっている。

#### 〈 TPPに参加した場合に、国内・県内農業が受ける打撃への対処について 〉



## 6 県政の重要度と満足度について

県民の皆さまのニーズ(要望)に対応した県政を進めるためには、皆さまが「県行政に対して何を求めているのか」、「現在の状況にどのくらい満足しているのか」を知り、それを県政に反映させていくことが重要となります。

現在、「せとうち田園都市香川創造プラン」※（平成23～27年度）の各施策の達成状況を評価したいと思いますので、各施策に対する重要度と満足度について皆さまの考えをお伺いします。以下の質問にお答えください。

「重要度」については、あなたが今の生活やこれからの生活を送っていくうえで各施策がどのくらい重要かを、また、「満足度」については、あなたが各施策に対して現状にどのくらい満足しているかを、それぞれ五段階で評価してください。

### ※ せとうち田園都市香川創造プラン

本県の進むべき基本的方向とそれを実現するための方策を明らかにした県政運営の基本指針である「せとうち田園都市香川創造プラン（平成23～27年度）」を平成23年度に策定しました。本プランの基本目標である「せとうち田園都市の創造」（活気あふれる街と美しい自然が隣接し、生涯を通じて安心して生活できる環境の中で、人々が生きがいを見だし、みずからの能力を存分に発揮できる、また、その魅力に引かれて集い合う、瀬戸内香川の生活圏域の創造）をめざして各施策に取り組んでいます。

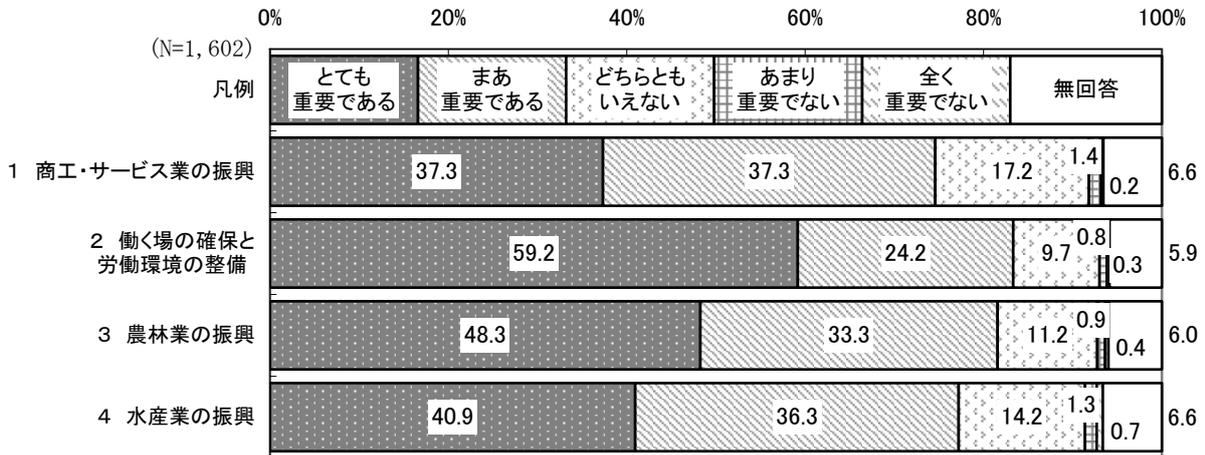
「せとうち田園都市の創造」を実現するための基本方針として、活力ある産業づくりと働く場の確保を主な内容とする「元気の出る香川づくり」、生涯を通じた安心の確保をめざす「安心して暮らせる香川づくり」、たくましい人づくりと魅力ある地域づくりをめざす「夢と希望あふれる香川づくり」の3つの香川づくりを掲げています。

**(1) 元気の出る香川づくり (重要度)**

問 20 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「元気の出る香川づくり」についておたずねします。「元気の出る香川づくり」に向けて進めている施策の1～4についてあなたの<重要度>を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。(単位：%)

[回答者数=1,602]	重要度					
	とても重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	無回答
1 商工・サービス業の振興	37.3	37.3	17.2	1.4	0.2	6.6
2 働く場の確保と労働環境の整備	59.2	24.2	9.7	0.8	0.3	5.9
3 農林業の振興	48.3	33.3	11.2	0.9	0.4	6.0
4 水産業の振興	40.9	36.3	14.2	1.3	0.7	6.6

「元気の出る香川づくり」について重要度をみると、どの施策項目でも「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】が7割を超えており、特に『働く場の確保と労働環境の整備』では83.4%、『農林業の振興』では81.6%と、8割を超えている。



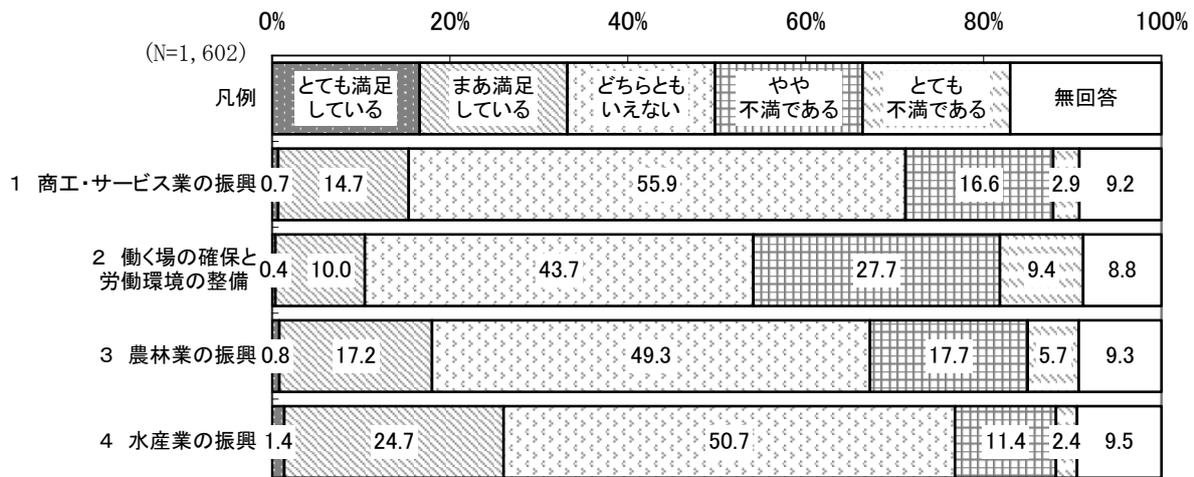
## (2) 元気の出る香川づくり（満足度）

問 20 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「元気の出る香川づくり」についておたずねします。「元気の出る香川づくり」に向けて進めている施策の1～4についてあなたの〈満足度〉を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。（単位：％）

[回答者数=1,602]	満足度					
	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	とても不満である	無回答
1 商工・サービス業の振興	0.7	14.7	55.9	16.6	2.9	9.2
2 働く場の確保と労働環境の整備	0.4	10.0	43.7	27.7	9.4	8.8
3 農林業の振興	0.8	17.2	49.3	17.7	5.7	9.3
4 水産業の振興	1.4	24.7	50.7	11.4	2.4	9.5

「元気の出る香川づくり」について満足度をみると、どの施策項目でも「どちらともいえない」が最も高く、4割を超えている。

『水産業の振興』については、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】が「とても不満である」と「やや不満である」を合わせた【不満である】を上回っている。一方、『商工・サービス業の振興』、『働く場の確保と労働環境の整備』、『農林業の振興』では【不満である】が【満足している】を上回っており、特に『働く場の確保と労働環境の整備』ではその差が大きくなっている。

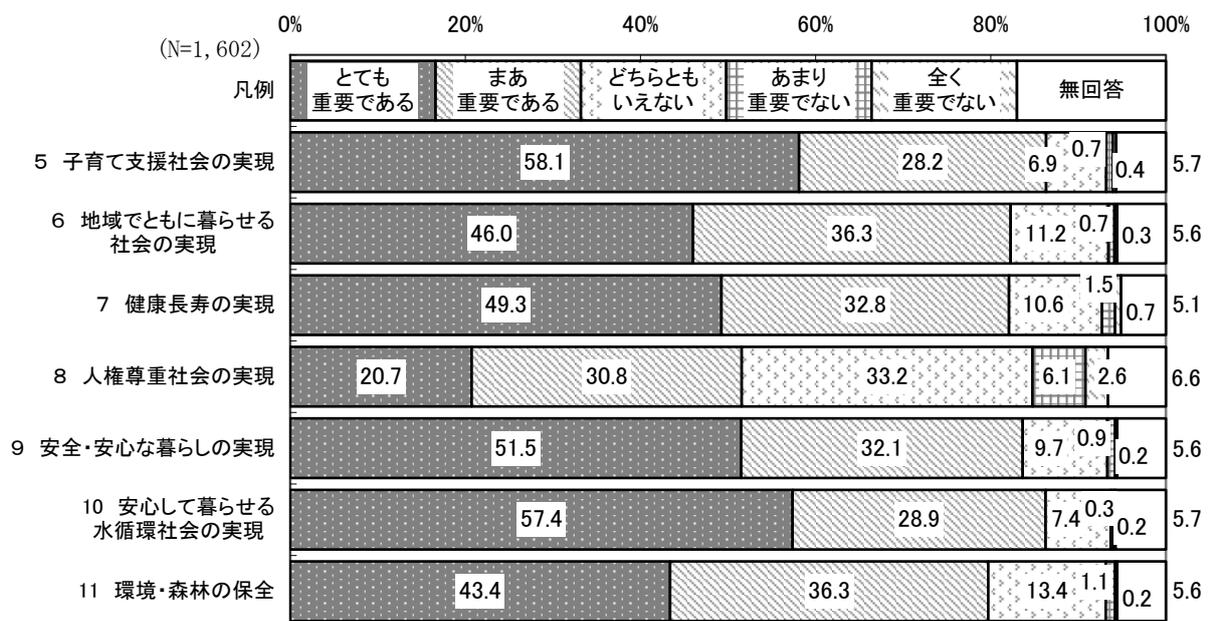


### (3) 安心できる香川づくり（重要度）

問 21 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「安心できる香川づくり」についておたずねします。「安心できる香川づくり」に向けて進めている施策の5～11についてあなたの<重要度>を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。（単位：％）

〔回答者数=1,602〕	重要度					
	とても重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	無回答
5 子育て支援社会の実現	58.1	28.2	6.9	0.7	0.4	5.7
6 地域でともに暮らせる社会の実現	46.0	36.3	11.2	0.7	0.3	5.6
7 健康長寿の実現	49.3	32.8	10.6	1.5	0.7	5.1
8 人権尊重社会の実現	20.7	30.8	33.2	6.1	2.6	6.6
9 安全・安心な暮らしの実現	51.5	32.1	9.7	0.9	0.2	5.6
10 安心して暮らせる水循環社会の実現	57.4	28.9	7.4	0.3	0.2	5.7
11 環境・森林の保全	43.4	36.3	13.4	1.1	0.2	5.6

「安心できる香川づくり」について重要度をみると、ほとんどの施策項目で【重要である】が8割を超えており、特に『子育て支援社会の実現』、『安心して暮らせる水循環社会の実現』で高い割合となっている。

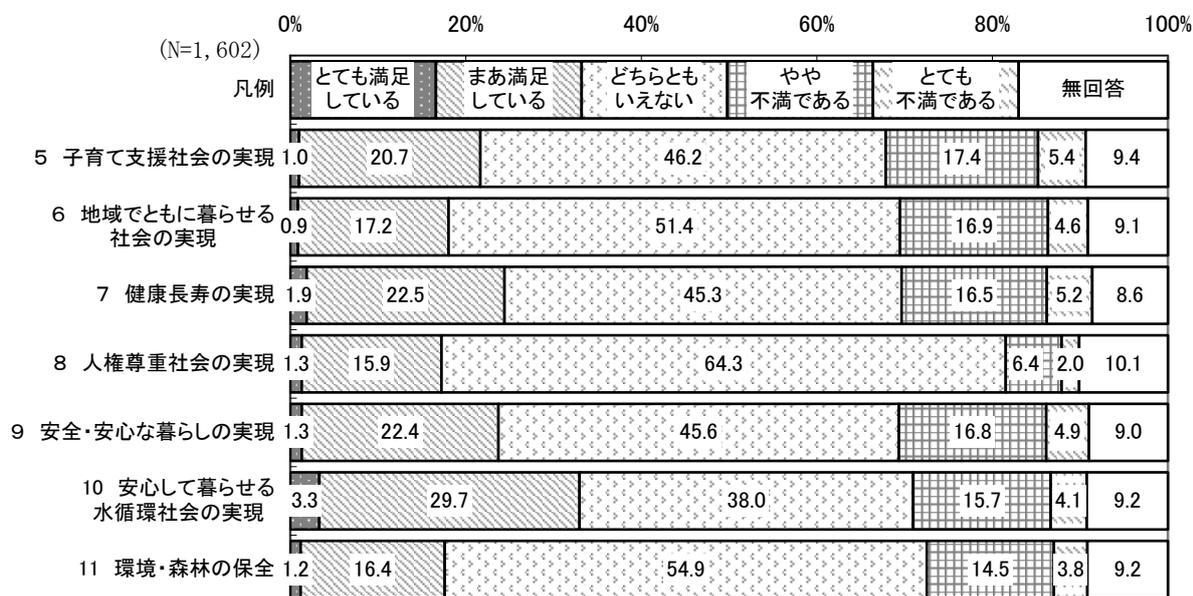


#### (4) 安心できる香川づくり (満足度)

問 21 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「安心できる香川づくり」についておたずねします。「安心できる香川づくり」に向けて進めている施策の5～11についてあなたの<満足度>を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。(単位：%)

[回答者数=1,602]	満足度					
	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	とても不満である	無回答
5 子育て支援社会の実現	1.0	20.7	46.2	17.4	5.4	9.4
6 地域でともに暮らせる社会の実現	0.9	17.2	51.4	16.9	4.6	9.1
7 健康長寿の実現	1.9	22.5	45.3	16.5	5.2	8.6
8 人権尊重社会の実現	1.3	15.9	64.3	6.4	2.0	10.1
9 安全・安心な暮らしの実現	1.3	22.4	45.6	16.8	4.9	9.0
10 安心して暮らせる水循環社会の実現	3.3	29.7	38.0	15.7	4.1	9.2
11 環境・森林の保全	1.2	16.4	54.9	14.5	3.8	9.2

「安心できる香川づくり」について満足度をみると、どの施策項目でも「どちらともいえない」が最も高く、ほとんどの項目で4割を超えている。『健康長寿の実現』、『人権尊重社会の実現』、『安全・安心な暮らしの実現』、『安心して暮らせる水循環社会の実現』については、【満足している】が【不満である】を上回っている。一方、その他の項目では【不満である】が【満足している】を上回っている。

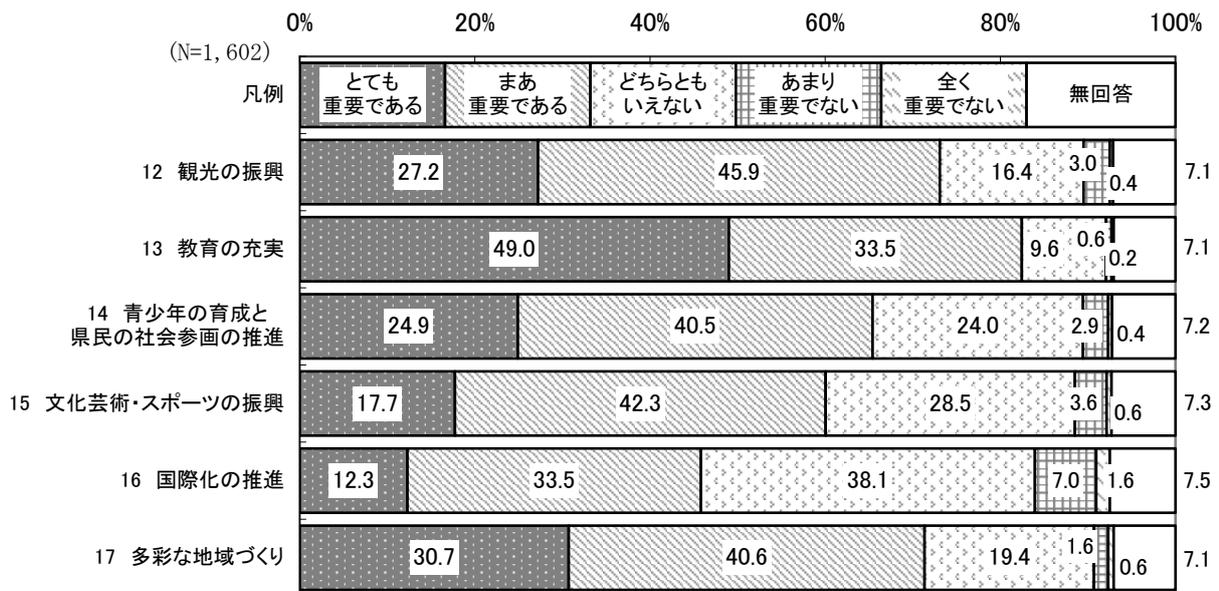


(5) 夢と希望あふれる香川づくり (重要度)

問 22 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「夢と希望あふれる香川づくり」についておたずねします。「夢と希望あふれる香川づくり」に向けて進めている施策の12～17についてあなたの<重要度>を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。(単位：%)

[回答者数=1,602]	重要度					
	とても重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	無回答
12 観光の振興	27.2	45.9	16.4	3.0	0.4	7.1
13 教育の充実	49.0	33.5	9.6	0.6	0.2	7.1
14 青少年の育成と県民の社会参画の推進	24.9	40.5	24.0	2.9	0.4	7.2
15 文化芸術・スポーツの振興	17.7	42.3	28.5	3.6	0.6	7.3
16 国際化の推進	12.3	33.5	38.1	7.0	1.6	7.5
17 多彩な地域づくり	30.7	40.6	19.4	1.6	0.6	7.1

「夢と希望あふれる香川づくり」について重要度をみると、ほとんどの施策項目で【重要である】が6割を超えており、特に『教育の充実』は82.5%と8割を超え、『観光の振興』、『多彩な地域づくり』についても7割を超えている。



## (6) 夢と希望あふれる香川づくり（満足度）

問 22 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「夢と希望あふれる香川づくり」についておたずねします。「夢と希望あふれる香川づくり」に向けて進めている施策の12～17についてあなたの〈満足度〉を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。（単位：％）

〔回答者数=1,602〕	満足度					
	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	とても不満である	無回答
12 観光の振興	1.7	22.5	46.7	14.7	3.4	11.1
13 教育の充実	1.2	19.2	47.3	16.0	5.2	11.0
14 青少年の育成と県民の社会参画の推進	0.6	13.0	64.8	8.6	1.9	11.1
15 文化芸術・スポーツの振興	2.2	21.1	54.9	8.4	1.9	11.5
16 国際化の推進	0.7	10.1	69.1	7.4	1.4	11.3
17 多彩な地域づくり	1.1	15.0	56.4	14.0	2.7	10.8

「夢と希望あふれる香川づくり」について満足度をみると、どの施策項目でも「どちらともいえない」が最も高く4割を超えている。

また、ほとんどの施策項目で【満足している】が【不満である】を上回っているが、『教育の充実』、『多彩な地域づくり』では【不満である】が【満足している】を上回っている。

